

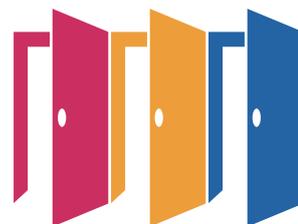
Rotary International District 2630 2020-2021

ガバナー



Governor's Monthly Letter

Rotary



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー 第2630地区

2020-2021年度 ガバナー 剣田 廣喜

ガバナー事務所

〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合 本町サテライト出張所 3階

TEL 0577-33-2630 FAX 0577-36-1488 URL <https://www.rid2630.jp/> E-mail 2021@rid2630.jp



魚帰りの滝(高山市狂川町三尾河)

Contents

- 2020～2021年度 RI会長メッセージ
「ロータリーは機会の扉を開く」
- 2020～2021年度 第2630地区 ガバナーメッセージ
- ポストコロナでロータリーは変わる
- ガバナー補佐就任挨拶並びに抱負
- 委員長就任挨拶並びに活動計画
- 辻ガバナー退任メッセージ
- 剣田ガバナー謝辞
- 第2630地区 役員・委員会組織図
- 2020～2021年度 地区行事予定表
- 第2630地区 クラブ一覧表(三重)
- 第2630地区 クラブ一覧表(岐阜)
- 第2630地区 会員数報告
- 第2630地区 会員動静報告
- 新年度までのあゆみ

7

July 2020 Vol.1

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます

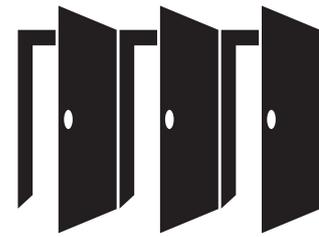


ロータリーは機会の扉を開く



2020-21年度
国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク
(Rotary Club of Herzogtum Lauenburg-Mölln)



Rotary Opens Opportunities

1992年にロータリー入会。

ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。現在は恒久基金／大口寄付アドバイザーを務める。

不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。

125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネジャー。

地域社会では、ラッツェブルク市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambek ゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。

カール・アダム財団の会長で創設者。

スザンヌ夫人とともにメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

14年前、ロータリーはここサンディエゴで初となる国際協議会を開催しました。当時ガバナーエレクトだった私は、今皆さんがおられるところに座り、待ち受ける責務とリーダーとしての挑戦で緊張しておりました。2020年となった今、サンディエゴで開かれる最後の国際協議会でも、やや緊張気味です。私にとっては今回のほうが責務が大きいからです。しかし、可能性も大きいのです。これからのあらゆる機会を皆さんと共有できることを、とても楽しみにしています。新たなリーダーシップの年度とともに地区の重要な仕事が終わってしまわずに、さらに注力されていくよう、皆さんはチームの一員となって年度を越えて協力します。

私もチームの一員です。

ロータリーの成長に対するマーク・マローニー会長の強い決意を受け継いでいけることを誇りに思います。とはいえ、数字を掲げて成長を求めるようなことはしません。その理由はごく単純です。これまで数字を掲げて成長を求めるたびに、失敗に終わってきたからです。皆さんには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能なかたちで、いかにしてロータリーを成長させることができるかを考えていただきたいと思います。いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか。そして、立ちどころ課題に立ち向かうため、いかに組織を強

くできるか。ポリオ根絶の取り組みによって世界でロータリーへの認識が高まっているこの絶交の機会に、行動を起こさなくてはなりません。「太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならない」のです。

多くの意味で、ロータリーは素晴らしい状態にあります。財務も健全です。財団は、世界で最高の慈善団体の一つに数えられています。グローバル補助金は増え続け、ロータリーは年々、国際的な活動に注力するようになっていきます。ロータリーはまた、興味深いかたちで進化しています。今では、アジアのロータリアン数が北米のその数を上回っています。しかし、この傾向が続けばリスクもあります。特に人口の高齢化が進む地域で、ロータリーが衰退し、老齢化しています。何もせずにこれまでの功績に満足していることはできません。デジタル革命が私たちにもたらした打撃は、予想をはるかに超えています。これまでもこの課題に直面していましたが、十分な対応が取られてきませんでした。

最近、ニューヨーク州ロチェスターでロータリアンの方々にお話しする機会がありました。コダックの元幹部もそこに出席していました。その方によると、写真がいずれデジタルに移行するだろうと皆わかっていたものの、実際にそれほど早くそれが起こるとは予期していなかったそうです。業界の世界的リーダーだった同社は、わずか数年で倒産してしま

いました。時間は、私たちのためにスローダウンしてくれません。とはいえ、私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです。

ドイツで私たちは、ロータリーは価値を共有し、高潔な心をもつ人のコミュニティであると考えています。人びとをロータリーに引きつけるのは、友情と人脈づくりの機会です。だからこそ、クラブが強いのです。奉仕の力は強いクラブから生まれます。「四つのテスト」は、客観的に物事を決める上で助けとなります。その要は、内省です。時に、自分の目で見ることが真実であるかどうかさえわからなくなることがあります。しかし、「四つのテスト」のおかげで、私たちはこう自問します。「自分は正直か」「自分のしていることは正しいか」と。これは大切なことです。では、自分に正直であるなら、将来を考えたとき、待ち受ける課題に取り組むためにロータリーは十分に手を尽くしていると言えるでしょうか。

ロータリーは変わらなければなりませんし、必ず変わります。古き良きロータリーではなくなったと文句を言うロータリアン仲間がいたとしても、変わらなければならないのです。ポール・ハリスが言ったように、時に革命的でなければなりません。そして、革命的であるべきときは、まさに今なのです。その一つの方法は、新クラブのモデルをつくり、ロータリー会員であることの意味を考え直すことです。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです。

多くの若者にとって、一緒に座って食事をするのは、一番良い例会の方法ではありません。この方法で100年以上例会を開いてきたからといって、それが唯一の方法であるわけではありません。例えば、スザンヌが所属するクラブは地元のEクラブですが、週1回、オンラインで例会を行い、スマートフォンのアプリで連絡を取りあい、顔を合わせるのは月1回です。スザンヌのクラブの会員は、27歳から70歳にわたります。私は、ロータリークラブのこのような世代の多様性が好きです。多世代のクラブ、これこそが理想です。これに成功するクラブもあるでしょうが、若い世代のニーズに応じてはじめて可能となります。新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません。皆さんには、これを実施する力があります。これが成功するかどうかは、皆さん次第です。新しいロータリークラブの結成は、地区ガバナー特有の責務です。国際ロータリーが既に変化を受け入れた今、これらの新クラブを実現できるかどうかは皆さんにかかっています。ところで、若い世代の声を聞き、既存クラブへの入会を若い世代にとってより魅力的なもの

とする一つの方法は、環境にもっと焦点を当てることです。オーストラリアの山火事など、近年の災害により、断固たる行動を取ることの重要性が浮き彫りとなっています。過去3代の会長は、環境保全にロータリーがより力を入れるべきであることを強く主張しました。できることは数多くあります。プラスチックの消費を減らすこと、自宅やオフィスの冷房や暖房を効かせすぎないこと、ドイツの高速道路で飛ばしすぎないこと…。ロータリーは奉仕プロジェクトに環境保護や持続可能性を既に組み入れていますが、これらの問題をもっと優先させなければなりません。若い人たちは、私たちから行動へのインスピレーションをもらうことを待ち望んでいます。

今の若者は、奉仕を楽しみ、活動的でありたいと望んでいます。この傾向をローターアクトに見ることができます。ローターアクトは今や、私たちと同じく、国際ロータリーの一部です。作為的な年齢制限は廃止されました。自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクト自らに決めてもらおうではありませんか。ローターアクトと一緒に活動したことがある方なら、この若者たちが聡明で、活発で、行動力のある人たちであることを知っているはずですが、ローターアクトは、テンポが速く、より活動的で、せっかちです。この「せっかち」は、長所です。今すぐに結果を出したいから、物事を早く成し遂げるのに必要な仕事に取り組もうとします。このせっかちさと粘り強さが、成果を生みます。9年前、ベルリン動物園と協力した新しいプロジェクトのアイデアをロータリアンたちが思いつきました。それは、年に1度、週末に、運動、読書、健康的な食事を促進するために子ども向けの楽しいショーを開催するものでした。ロータリークラブがまだこのプロジェクトについて検討し、協議している間に、ローターアクトたちはこれを早速開始することを決めました。そして今、ベルリンの全36のロータリークラブとローターアクトクラブがこのプロジェクトに参加し、何千人という恵まれない子どもに喜びを与えています。ですから、課題に立ち向かい、ローターアクトや若い職業人にロータリーの扉を開こうではありませんか。

一方で、ロータリアンとなるのにふさわしくない年齢はないということも覚えておきましょう。年齢にかかわらず、誰でも歓迎します。どの年齢の人も、与えることのできる大切な何かをもっています。若いロータリアンに働きかけながらも、ほかの年齢の人を忘れてはなりません。

しかし、既存のクラブはどうでしょうか？世界には、会員の参加促進と維持に成功している地域がある一方で、もっとがんばらなくてはならない地域もあり

ます。成功するには、慎重に新会員を選び、それぞれの新会員に合ったクラブに入会できるようにしていかなければなりません。クラブが新会員の期待に沿う必要があります。十分に時間をかけてこれに真剣に取り組むことは、生涯続いていく新しい友人を選ぶことと同じです。

新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります。退会した人はロータリーについて周囲に話し、これがロータリーのイメージに影響します。すべての新ロータリアンに、生涯のロータリアンになってもらいたい、ロータリーに積極的に参加する友人になってもらいたいと、私たちは考えています。

どの新会員も、私たちを少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらししてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学び、その経験と知識を生かすことで、私たちはより強くなります。だからこそ、クラブに、そしてリーダーの役職に、もっと多くの女性が必要なのです。

新しい人と出会い、その人たちにロータリーを楽しんでもらうことは、私たち自身にとっても楽しみであることを忘れてはなりません。私たちは、互いのつきあいを楽しみながら、さまざまな活動で充実した時間を過ごしています。このような楽しい経験を生かす必要があります。

楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。

ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 (together) であることも、驚くことではありません。「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves. (私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています)」

ビジョン声明は、ロータリーの新しい行動計画の土台を成すものです。その実施において、皆さんは極めて重要な役割を担っています。この新しい行動計画の要は、ロータリーの成長であり、デジタル時代にロータリーが適応する一助となることです。この行動計画を実行に移す時が、今やってきました。今後5年間、この計画によりロータリーがより大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促し、適応力を高めていくこととなります。

すべてのロータリークラブに、少なくとも年に1度、戦略立案会議を開いていただきたいと思います。

各クラブが、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員にもたらす価値がどのようなものかを認識すべきです。

ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在であるのはなぜでしょうか。皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるでしょうか。

私たちは人との交わりを楽しみます。世界のどこへ行こうと、出会ったロータリアンと親友になり、もっと一緒に時間を過ごしたいと感じます。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化をもっています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、またクラブによって異なります。この多様性こそが、ロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つのテスト」を信じています。ロータリーを経験する方法はいたるところで異なりますが、「四つのテスト」は誰にとっても同じです。

ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見ることができます。これは、他にはない機会です。

ロータリーは、奉仕のアイデアを実行に移すために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてきました。

ロータリーはまた、リーダーシップの機会も与えてくれます。私たちは皆、新しい大きな責務を引き受けました。これは、自分自身の栄光のためでなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。人びとのためにリーダーシップへの道を切り開いてあげることこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることで皆さん自身がより効果的なリーダーとなります。

ご存知の通り、ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会への扉を開いてくれます。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会への扉を開いています。

従って、私たちの年度のテーマは、「ロータリーは機会への扉を開く」です。

「2020年国際協議会テーマ講演より抜粋」



「伝統的日本ロータリーの文化を 輝かせ、真のイノベーションへ」

2020-21年度
RI第2630地区ガバナー

劔田 廣喜

今回、2回目のガバナーを務めることとなったのは、すべてに明確な理由や原因があるという必然的な考えが必要だと考えております。いわば理由や原因を自分に求めることで、自分を変えロータリーを変えていくことができるのかもしれない。

明確な理由、原因とは、それは2016-2017年度の地区大会の決議を明確化することです。すなわち「日本の伝統として継承するロータリー文化を堅持する決議」であります。

2016-2017年度地区大会決議にご指導いただいた服部芳樹パストガバナーは、「日本のロータリーの伝統とは、職業奉仕を学ぶ道場が例会であり、自分を磨くために例会に出席する事」と言われております。私は職業奉仕を根幹とするロータリーの理念を大切にしたいと思います。

「日本のロータリーの伝統を堅持すべき」の明確化は現在のRIの動向に対する大いなる挑戦と受け取られても仕方ありません。

ご承知のとおりRIは戦後「職業奉仕」の中核をなす「職業倫理」を強調しなくなりました。この傾向は1960年代に入ってRIがWCS(世界社会奉仕)を導入したころから顕著であります。RIはルビコン川を渡り、もはや引き返すことのできない領域に入ってしまった。

RIはTRF(ロータリー財団)と蜜月関係を強化して今や「クラブ」を超えた「グローバル会員制度」を導入し、世界最大のNPO法人を目指しかねない勢い

であります。

我が国の「クラブ」の多くが目指している「職業倫理」を重視する「倫理運動体」との二極化であります。

組織の持つ「理念」・「目的」は唯一無二のものでなければ持続しません。その意味でRIは今後ますます「人道的奉仕活動」としてのNPO法人を目指すでしょう。代わりに「職業倫理運動体」としての性格は失われます。

しかし、「職業倫理」の重要性は、いつかは違う形で復権するでしょう。なぜならばそれが本質だからです。またそうしなければ人類の持続性さえ危うくなるからです。

私たちはその日を夢見て高い理想を主張し続けなければいけません。その意味で、日本のロータリーの伝統を堅持することはRIが現状にあるからこそ重要性を増しているのだと思います。

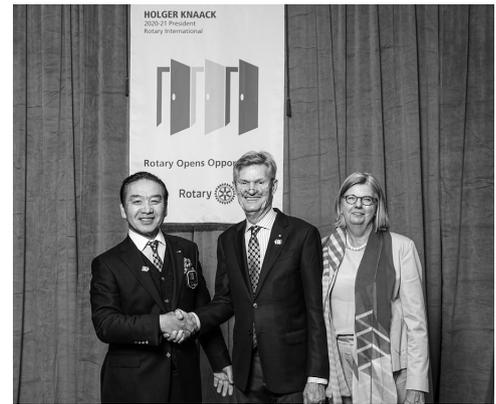
地区方針「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」は私のガバナー信条です。単に昔に戻るのではなく、むしろイノベーションのために、改革のためには本質的なものに戻る、本質を見極めるということです。さらに、元になる精神を根底に、一体どういう方向に何を改革するのかということが大切となります。

伝統(職業奉仕・例会出席)を守りながらも伝統の中から新しいものを見つけ、時代に合った新たなものを創造していかなければならないと考えております。

地区目標

1. RI会長テーマおよび強調事項の推進
2. RIロータリー賞への積極的なチャレンジ
 - ・ロータリークラブ・セントラルを開き、25項目から13項目を選んで目標達成。
3. 新しいRI戦略計画の推進
 - ・戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、または活性化して、クラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていただきたい。
4. 会員増強・会員維持・クラブ拡大
 - ・女性会員や40歳未満の会員の入会、またローターアクターのロータリークラブへの入会を促す。
 - ・新クラブ(衛星クラブを含む)の拡大。各クラブ1名以上の純増を。会員の維持。

5. 青少年育成の推進
 - ・ インターアクト、ローターアクトクラブ、青少年奉仕、青少年交換への支援および協力の強化。
6. ロータリー財団補助金の積極活用と寄付への理解・推進
 - ・ 地区補助金全クラブの活用、グローバル補助金の活用
 - ・ 奉仕プロジェクト委員会との連携
 - ・ 年次寄付 150ドル以上/1名
 - ・ ポリオ寄付 30ドル以上/1名
 - ・ 恒久基金 1,000ドル以上/1クラブ
7. 米山奨学事業への参加と支援
 - ・ 奨学生支援(世話クラブ・カウンセラー引き受け)
 - ・ 寄付推進 12,000円以上/1名
8. 例会は週1回、メイクアップは前後2週間を推奨します。



ポストコロナでロータリーは大きく変わる

皆様と共に今年度ロータリー活動ができますことを大変嬉しく存じておりますが、現在、新型コロナウイルスの出現によって、世界中に大きな恐れや悲しみ、混乱が起きています。我が地区においても、会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会が中止となり、オンライン研修に切り替えました。地区ガバナーとして、公式訪問、GTM、地区大会が出来るのかどうか心配していたところ、4月のRI理事会で、

- ・ 2020年中に行われるクラブ訪問についてRI理事会は、ガバナーがバーチャル会合(注)を利用することを強く推奨する。
- ・ 地域リーダーは、2020年中に開催される研修セミナーやその他行事をバーチャル会合(注)で実施することを強く推奨する。」と決定されました。(注：「インターネット上での会合」の意)

この決定に従い2020年中の地区の行事はリアル(対面形式)ではなくバーチャル、つまりインターネットを活用した形式で行う事とします。ただし、クラブ公式訪問、GTMに関しては、クラブ自治権の範疇でありますので、ご要請いただければ出席させていただきます。

有事の時にロータリーのリーダーを務めることは大変困難なことでありますが、私は一回経験していますので、比較的冷静に受け止めております。有事だからこそ、以前の経験を活かせる私で良かったのかもしれない(?)

また地区大会は、会員相互の親睦と交流の輪が広がり、そのエネルギーをロータリー活動にインセンティブを与えていく事が目的でありますので、どうしてもリアル(対面形式)で開催したいため、来年(2021年)の5月29日(土)・30日(日)に延期をしました。浦田年度とオーバーラップとなりますがご理解頂きたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大は、何事もグローバル化が正しいという潮流が背景にあり、行き過ぎた資本主義がベースになっています。ロータリーもグローバル化によって組織原理が衰退し、日本のロータリーが心棒してきたロータリーの伝統的な有り様、基本的なルールがなし崩しとなりました。RIのジョン・ヒューコCEOの言う破壊的イノベーションです。

しかし、私たちは新型コロナウイルスによって、世界は一つという耳触りの良い言葉の裏にある多大なリスクに目覚めました。ロータリーも地球上に存在する色々な文化と同様に、バランスよく多様化されることこそが、真のグローバル化ではないでしょうか。日本のロータリーのガラパゴス化(例会・職業奉仕重視)も悪い事ではないと思います。

これからのポストコロナは、ロータリーにとっては一つの考えるべき課題となります。コロナショックによって3つの価値観が変わると言われています。

- ①集中から分散
- ②リアル(対面)からバーチャル(インターネット上で)
- ③自分の外側から内側(自分の内面に思いを巡らすこと)

ロータリーもこれから大きく変わっていきませんが、一つ言えるのは、昔からある根本的な人間の本質・感情は変えてはならない、もしくは、忘れてはいけない。ということです。

ロータリーの本質である理念や目的となる「心を育むこと、心を集めること、心を寄せること」が、あらゆる目標を達成し得る最良の手段だということを忘れてはならないと思います。奉仕とは我々の行為を通じて生きる希望を与えることです。

今の状況はすぐには変わりません。起きていることをできるだけポジティブに捉え、今年度皆様とコロナ禍に負けずにロータリー活動に取り組んでいきたいと思ひます。

ガバナー補佐就任挨拶並びに抱負



「ガバナー補佐就任挨拶並びに抱負について」

桑員グループガバナー補佐
水谷 茂 (桑名北RC)

今年度ガバナー補佐を拝命しました桑名北ロータリークラブの水谷茂です。

劔田ガバナーのもと地区と桑員各クラブの橋渡し役として、精いっぱい努めますのでよろしくお願ひ致します。私自身の思いと目標は、各クラブ訪問時には積極的にお声がけをして交流を深めたいです。又、各クラブの皆さんも他クラブに訪問して交流を深めて下さい。桑員四クラブがそれぞれの個性を活かしながら成長し、目標に向かって進んで行く事を微力ながらお手伝いさせていただきます。新型コロナウイルス禍の中、各行事流動的になると思いますが、一年間、明るく、楽しく、務めさせていただきます。



ガバナー補佐就任にあたって

四日市グループガバナー補佐
佐野 幸男 (四日市北RC)

2020-2021年度2630地区四日市グループガバナー補佐を拝命しました四日市北ロータリークラブの佐野幸男でございます。宜しくお願ひいたします。

2019年7月に次期ガバナー補佐予定者12名が初会合し、今月で1年が経過するわけですが、各種の研究會に参加をし、学ばせていただきましたが、今年の2月の地区チーム研修セミナーを受講したのが最後でありまして、3月・4月・5月と三カ月間新型コロナウイルスによって勉強會が出来なくなりました。「3つの密」は避けてください。又、拡大阻止には人の活動を控えるなど人間の接触が出来なくなる社会政情でありました。このような社会経済状況化の中でガバナー補佐の役割が出来るのかと心配でなりません。ロータリアンの中でもロータリーどころではないという人もいるのではないのでしょうか。

今年度のRIホルガー・クナーク会長は「ロータリーは機会の扉を開く」としました。ポリオ根絶のような大規模で歴史的なプロジェクトから地域社会でのさやかなプロジェクトや、1本の植樹まで奉仕する機会への扉を開いてくれます。私たちのあらゆる行動がどこかで誰かの為に機会の扉を開いてくれます。

ロータリーのビジョン声明でtogether (みんなが集まること)の言葉があります。この「みんなが集まること」ができない現状が続いている現在、ガバナー補佐としての責任の重さを痛感しております。

ガバナーの地区方針は「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」であります。伝統(職業奉仕、例会出席)を守りながらも、伝統の中から新しいものを見つけ時代にあった新たなものを創造していかなければならないと言われました。補佐としてガバナーの新年度テーマに基づく事業方針を各クラブへお伝えし、的確にクラブ運営ができ

るように働きかけてまいります。

今回の新型コロナウイルスにて特に地区目標の會員増強、會員維持を最優先に行わなければならないと考えております。特に會員維持です。企業経営の悪化がますます増加している今日、會員の維持に全力をあげる気持ちでいっぱいでありました。また、女性會員の増強をはかる為、5クラブの女性會員の集いを開催したいと思っております。また、クラブ研修リーダーの役割を明確にして、クラブの活性化を見出すことができたいと思っております。

ロータリアンが笑顔になり例会出席が楽しみとなるクラブ作りをグループのみなさまとともに歩んでいきたいと思っております。

大変微力ですが、この1年頑張っておりますので協力よろしくお願ひ申し上げます。



ガバナー補佐として

鈴鹿・亀山グループガバナー補佐
伊藤 素近 (鈴鹿シティRC)

2020～2021年度2630地区鈴鹿亀山グループAGを拝命いたしました、鈴鹿シティRCの伊藤素近と申します。3月より世界中に猛威を振るっています新型コロナウイルスの影響でRIはもとより地区内における研修會等すべての會合が中止、各クラブにおいても4月より例会が中止となる様な事態が起り、ロータリーが未だ経験したことのない状況の中、私自身も第2波、第3波の恐怖を抱えながらの不安一杯のスタートとなりました。しかしここで立ち止まっては何も進みません。この様な時だからこそ出来るが多々あると思っております。グループ内會員の皆様のお声を一つでも多く地区に伝え、起こるべき問題に迅速に対応していきたいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。

さて本年度RI会長ホルガー・クナーク氏が掲げる「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマのもと、劔田ガバナーは「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」という方針を打ち立てられました。中身はたくさんありますが、改革のためには本質的なものに戻る、すなわち本質を見極めるということです。一つには日本のロータリーの伝統であると思われる職業奉仕と言う理念を大切に進めていかれると思っております。私も劔田ガバナーの思いを少しでもグループの皆様にお伝えしながら、一年間頑張っていく所存です。今後とも皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。



ロータリーの原点に戻って考えてみよう

中勢・伊賀グループガバナー補佐
福本 毅 (名張RC)

この度は2630地区、中勢・伊賀地区のガバナー補佐を受けさせて頂き大変緊張しております。私は1999年に入会させていただき今年で20年となった

ガバナー補佐就任挨拶並びに抱負

この節目にこの大役は一生の思い出です。皆様のご協力のもと、役を務めてまいります。

さて、1978～80年時代ではRIも日本ロータリーも職業奉仕こそがロータリーの根幹としてきました。120年の歴史をたどりながらも少しずつ変化してきました。日本ロータリーとしては職業奉仕を根幹としてきましたが、RIが提唱する人道的慈善奉仕は世界でのポリオ根絶に挑戦しています。素晴らしいことで皆さんと共に協力していきたいと思っています。日本人としてはRIの理念が2極化してきた感じがします、ロータリーの原点に戻って考えてみれば職業奉仕あっての人道奉仕だと思います。

我々ロータリアンとしてRIの理念「人道慈善奉仕」を尊重しながら、100年の歴史で育てあげてきた「職業奉仕」をロータリーのシンボルとして皆様と共に大切に引き継いで行こうではありませんか。



松阪・東紀州地区ガバナー補佐 就任のご挨拶

松阪・東紀州グループガバナー補佐
西 謙一（尾鷲RC）

今期、ガバナー補佐という大役を務めさせていただくことになりました尾鷲ロータリークラブの西謙一と申します。

私は、税理士という職業ですが、お客様の要望により、三重県の北から南の端まで一人で紛争しており、365日飛び回っていて事務所における時間はほとんどありませんでしたので尾鷲クラブにおきまして、例会出席以外はあまり参加できませんでした。

この度、補佐の職務に関するいろいろな研修を受講させていただきましたが、いまいち身につけていないというのが現実です。新型コロナウイルスにより、各クラブへもご挨拶できず、今後を思うと不安でいっぱいでございます。

遅いかもわかりませんが、「ロータリーのいろは」を学びながら皆様の足手まといにならないようできる限り努力いたしたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力を昨年に増してよろしく願いいたします。

前任の太田ガバナー補佐様の卓話を何度か拝見し、「ガバナーの考えや意向を各クラブに伝達し、各クラブが計画を順調に進行できるようにお手伝いをしていくのが役目ですから、各クラブの今期の取り組みを十分把握してください。」と引き継ぎ指導いただきました。

新型コロナウイルスのため、以前と同じような接触の仕方はできない分、どのような形で皆様のお気持ちを理解していくかが早速の私の仕事と考えており不安だけが募るのみでございます。

そんな中、私の所属する尾鷲クラブで、3名の退会者が発生いたしました。14名だったのが11名になるということに私の心は18年前を思い起こし凍り付く思いです。実際、ガバナー補佐を受けている場合ではないと思いました。支部には余剰金といったものは一切ございません。これからの活動をどの

ように修正し、存続を図ればよいのか不安の種が増える一方です。そんな時、たまたまテレビで見たドラマの中でこんなセリフがありました。「神は乗り越えられない試練を与えない」です、新型コロナの場合も出口はもうすぐそこに来ています。「過去のいろいろな苦難も乗り越えてきたではないか。もう一度立て直しを考え努力しようではないか。」という考えが沸き起こってまいりました。

今年度もうひと踏ん張りし、ガバナーから新しい考えをいただき、地区の発展に少しでもお役に立てるよう努力したいと思っております。

「ごみを捨てる側から拾う側に」「幸福を求める側から与える側に」それが結果として自分の幸せにつながることでありと信じロータリー活動を進めたいと思います。

いろいろ生意気なことを書いてしまいましたが、結果は、何事も良いほうに考え、今期を楽しく活動していきたいと思っております。会員の皆様どうかご指導とご協力をお願いいたします。



とんでもない時にガバナー補佐 を拝命して

伊勢・鳥羽・志摩グループガバナー補佐
河野 等（伊勢RC）

ロータリーの活動がこんなに長く停止してしまったことは、私にとって初めての経験であった。この虚無感は本当に「ロータリーは機会の扉を」ある意味こじ「開ける」感があり、不易流行の不易ハードルの高さを大きく下げたのではないか。このようなwithコロナの中で例会をどういう形で継続・実施してゆくのか、まして奉仕プロジェクトもどのような形で勧めてゆけるのか、ハワイの世界大会も、いやオリンピックすら飛ばしてしまったこの難敵と取り組むにはe-クラブのような例会遠隔化の準備にただちに向かうべきなのか。

1ないし2年の間は何度かこういう事態が繰り返されると見る向きも多く、企業はすでにももの造りの現場以外はテレワークに切り替えることを強いられた。

zoomやSkypeによる少人数の遠隔の集まりは5G時代では絶対的に有効であり、前向きに捉えれば若いロータリアンと高年齢のロータリアンの親密度をこの普及課程で一層深め、クラブ内の団結を強くすることも可能であろう。まさに「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」年度になりそうである。

新コロナが与えたこの環境に対応するクラブライフ、目標合計300ドルを超える各種寄付金、クラブの考える奉仕活動をGTMテーマとして議論するのも大変興味深いのではないか。

今後とも1年間GRの皆さん、釧田GEをはじめとする地区チームの皆さんの絶大なる御支援・御協力をお願いする次第である。



ガバナー補佐就任にあたって

岐阜Aグループガバナー補佐
永瀬 章 (岐阜北RC)

2020-2021年度2630地区岐阜Aグループガバナー補佐を拝命いたしました岐阜北ロータリークラブの永瀬 章と申します。宜しくお願ひいたします。

昨年7月に名古屋にて、次期ガバナー補佐予定者懇談会があり、12月には研修セミナーを受け、いよいよガバナー補佐としての心構えを学ばなければと意識し始めた矢先、今般の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い様々な研鑽の場を失い、未熟な状態で皆様に接しなければならないことを大変申し訳なく思います。不勉強ではございますが精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度RIホルガー・クナーク会長のテーマは『ロータリーは機会の扉を開く』ロータリーとはクラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

また、劔田ガバナーは地区方針として『伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ』と掲げられ、日本のロータリーの伝統とは、職業奉仕を学ぶ道場が例会であり、自分を磨くために例会に出席することが大切であると仰っています。

現在、非常事態宣言が発令され(5月26日に解除)、密閉・密集・密接が発生する多人数での集会及び会議は自粛を求められています。本来ロータリーの会議(例会)は実際に会い、顔と顔を合わせて会議をすべきであります。今は、SNSなどで繋がりを保ちながら、ロータリーの輪を広げるときです。そして、コロナが収束して、世界中で会議ができるようになったとき、ロータリーは何ができるか皆で考えましょう。また、集まらない新しい形のクラブ運営も見えてくるかもしれません。皆で集まり例会が楽しくなるよう微力ですが、頑張ります。皆さまのご支援、ご協力を宜しくお願ひいたします。



ガバナー補佐就任にあたって

岐阜Bグループガバナー補佐
杉山 昌治 (岐阜城RC)

昨年の7月からガバナー補佐予定者として数回の研修を受講してきました。研修を重ねるごとに役割の理解が深まり、合わせて責任の重さを実感しています。

今年3月からは新型コロナウイルス感染拡大防止で、例会をはじめ各行事が延期・中止されるという想定外の出来事に遭遇し、現在のリアルな形態のみでは活動がストップしてしまい計画を予定通り実行することの難しさを体験しました。

5月に入り今年度スタートの前準備として、グループ内各クラブの現状を伺った折、既にクラブ内やクラブ間のコミュニケーションにリモート会合・

会議など、新しい方法の採用など工夫をされていることを知りました。

その流れを延長させ、今年度岐阜BグループのGTMでは運営形態をリモート開催で行います。初めての取り組みで不具合が出てしまうかもしれませんが、現在計画を進めております。

今後更なる想定外の出来事が訪れても、リアルコミュニケーションとリモートによるコミュニケーションの融合・進化によりロータリー活動が滞ることなく、劔田ガバナーが掲げられている地区方針「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」、そして8項目の地区目標が達成できるようお役に立ちたいと考えています。

大変微力ではありますが、精一杯頑張りますので宜しくお願ひ致します。



ロータリアンとして

岐阜西濃グループガバナー補佐
岩田 勝美 (羽島RC)

当時としては珍しく34歳での入会で、かなり経って聞いたが、当時の「十日間告示」で若すぎるからと入会に反対する意見があったようだ。実は自分自身も全く同感で、ロータリークラブの会員はその土地を代表する名士の集まりで、自分のような若輩の行くところではないと強く思っていた。しかし、入会が認められた旨を知らされてから入会拒否するなど絶対に出来ないと紹介者から厳しく言われ、第一線で油まみれで働きながらの入会となった。

工場全体を切り盛りし、客先対応も全て自分一人で行いながらの例会出席は苦痛以外の何物でもなかったが、Fire Side Meeting (現GTM)で隣になった大先輩(故人)から「ロータリーで勉強すれば必ず良い会社になる」併せて「自分が居なくても回る会社になる」それを勉強する所が例会場だと教えてもらい、今日に至った。後になって考えてみれば「入りて学び出でて奉仕せよ」を知らぬ間に実践していた。

当然ながら紆余曲折はあったが例会で隣り合わせた立派な経営者の言動、態度、生き様をごく自然につかみ取ることで、徐々に自分が居なくても何とかなっていく実感を得たころの12年前、アメリカ発の経済危機「リーマンショック」が起きた。この不況は生産財を直撃し、一年間の売り上げが25%まで落ち込んだが、一人もリストラする事なく乗り越えられたのはロータリーでの勉強のお陰だと思っている。もしロータリーと無縁であったら、とっくに会社は存在していないだろう。職業奉仕の対象は客先だけでなく“みんな”であり、従業員を大切にしない会社は本来のロータリー精神が無いと思っている。似て非なる言葉、公平と平等が相反する事もロータリアンでなければ分からない。

劔田廣喜ガバナーの補佐として「日本のロータリー」=「職業奉仕」を貫き通す覚悟で、一年間誠心誠意努めてまいります。皆様のご協力ご支援、宜しくお願ひいたします。



ガバナー補佐就任にあたって

岐阜東濃グループガバナー補佐
吉村 敏博 (中津川RC)

ロータリーは、創立されて以来115年が過ぎ、近年、その拡大の勢いに陰りが見え、特に、日本においては、減少傾向が、進んで参りました。そこで、活性化のための各種の施策が、打ち出されております。

今年度のホルガー・クナークRI会長は、今、世界は、急速に変化しており、ロータリーも変わっていかねばならないこと、そして、奉仕プロジェクトを通じ、自分自身や受益者の人生をより豊かにするための扉を開くのがロータリーであること、などを表明され、テーマを「ロータリーは機会の扉を開く」とされました。

劔田廣喜ガバナーは、「伝統的日本のロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」とされました。職業奉仕を全うし、例会を研修の場とする、日本の健全なロータリアンを育成しようとするものであります。

東濃グループにおいては、このような流れの中、歴史、文化の違うこの地域における、各クラブの活動のあり方を皆様とともに検討し、時代に合った活動をより充実させ、ロータリアンとしての個々の資質を高める努力をする。その後押しをしたいと考えております。

そこで、会員一人一人が、ロータリー活動に興味を持ち、楽しむこと、奉仕の理想を考えることをしてみたいと思っております。そのため、GTMでは、グループ内の各クラブにおいて、奉仕活動の成功した事業あるいは、うまくいかなかった事業を発表していただき、参加者皆で検討する、ロータリー活動の原点である、奉仕の理想の検討の場としたいと考えております。

今後は、各クラブのクラブ運営が、スムーズに進みますよう新年度テーマに基づく事業方針等を的確に伝える努力をして参ります。また、活動を通じて、よりクラブが、力をつけ、事業を進められんことを希望します。

この1年間何かとお世話になりますが、どうかよろしくお願ひします。



ガバナー補佐就任にあたって

東海北陸道グループガバナー補佐
藤代 昇 (郡上長良川RC)

2630地区東海北陸道グループのガバナー補佐を拝命致しました、郡上長良川RCの藤代 昇です。宜しくお願ひ致します。

今年の初めから中国で発生した新型コロナウイルスが、全世界に蔓延して多くの死者を出しています。日本においても3月に緊急事態宣言が出され、オリンピックを始めいろいろなイベント等が中止に

なり、不要不急の外出を控えるという事態になり、多くの業種で休業・時間短縮を要請され、厳しい状況が続いています。ロータリーにおいても色々なセミナー、研修会、PETS等が中止になり、東海北陸道グループではほとんどのクラブが例会中止になり、事業等も中止になっております。そして、まだまだ先の見えない状況で、今後どの様にロータリー活動を行っていくのか議論する必要があります。

これからは、劔田ガバナーの指導でロータリーの在り方を考え、どんな状況になってもロータリー活動を続けて行かなければならないと思っております。

私はこれ迄、他のクラブの方々と接する機会が少なく、今回の大役で積極的に各クラブのメンバーの方々と話し合い、交流を深めて行きたいと思っております。各クラブの皆様のご支援ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。



ガバナー補佐就任にあたって

濃飛グループガバナー補佐
大森 清雄 (下呂RC)

今年度、ガバナー補佐を拝命しました下呂ロータリークラブの大森清雄です。よろしくお願ひ致します。

2020-21年度ホルガー・クナークRI会長は「ロータリーは機会の扉を開く」というテーマを掲げました。ロータリーが行う奉仕活動をはじめとする、どこかで誰かのために役立つ多種多様なあらゆる活動の扉を開けていきましょうということだと理解しています。

それを受け、劔田ガバナーは「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」と地区方針を掲げられました。これは、日本のロータリーの伝統である職業奉仕がすべての活動の根底にあり、その上にロータリーの活動が成り立っているということだと思います。例えば、ロータリー財団等の寄付金等は、一生懸命働いて人に喜んでもらって稼いだお金ですか、また会員拡大で入会した若い世代の方に働くことの意義、働くことで社会に奉仕する意味を伝えていきますかといった職業倫理の大切さを理解した上で、新しい扉を開き真のイノベーションとなるべき活動を推進していくということになるのではないのでしょうか。このことについて濃飛グループ会長幹事をはじめとする会員の皆様と意見を共有し各クラブの活性化を図るお手伝いができれば幸いと存じます。

様々な事業が中止になり活動が困難な時期ではありますが、各クラブの特色や歴史を尊重し、ガバナーの思いとクラブを繋げる役割を果たしていけるよう努力いたしますので、会員皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

委員長就任挨拶並びに活動計画



研修部門委員会

委員長
田山 雅敏（上野東RC）

昨年は地区研修リーダーとして、辻直前ガバナー、劔田ガバナーが開催したセミナー等にてお話しをさせて頂く機会を多く頂きましたが、PETS以降の行事が中止となってしまう、残念ながら尻切れトンボのような1年になってしまいました。本年は研修部門委員長ということで、まず劔田ガバナーの指導のもとで行われる各地区委員会等が実施するセミナーや研修行事の支援、そして来年から行われる浦田ガバナーエレクトの主催する各種地区研修行事やセミナーを、次年度研修リーダーの指導を仰ぎ、研修委員会のスタッフの皆様と共に支援していきます。また、職業奉仕委員会が研修部門委員会に含まれており、劔田ガバナーの目指す日本の伝統的ロータリーの文化を堅持しつつ、真のイノベーションを実施していくための大切な委員会となりますので、わかりやすい情報提供を心掛けていきたいと考えています。



職業奉仕委員会

委員長
原尾 勝（岐阜北RC）

本年度、地区職業奉仕委員会の委員長を拝命致しました岐阜北ロータリークラブの原尾 勝でございます。宜しくお願ひ致します。

2020年度の劔田ガバナーは、「伝統的日本のロータリー文化を輝かせ、真のイノベーションへ」が信条であり「職業奉仕を根幹とするロータリーの理念を大切にしたい」とおっしゃっておられます。この伝統的日本のロータリー文化とは何か、それは「職業奉仕」と「例会」であります。この職業奉仕を学ぶ道場が例会であり、自分を磨くために例会に出席する（例会があるから出席するのではなく、自分を磨きたい人がいるので例会が開かれるのです）

即ち例会そのものがロータリーであります。また、職業奉仕は解り難いと言われております。この職業奉仕を「理念と実践」に分けて考えると解り安くなります。そして「職業奉仕を根幹とするロータリーの理念」とは何かを出来るだけ解り安く皆様にお話をしたいと思っておりますので地区の皆様、是非、卓話に呼んで下さい。真のロータリーの理念（その根幹が職業奉仕の理念）は、不易です。この不易を知ってこそ、真（マコト）の奉仕活動（おもてなし）が出来ますし、この良き日本のロータリーの理念を伝承していく義

務が我々ロータリアンにはあります。

今期、職業奉仕委員会は、「理念の浸透」をテーマに掲げて、2630地区のロータリアンの皆様へ地区セミナーやクラブ卓話にてお話をしたいと考えております。

昨今、新型コロナウイルスの影響でいつになったら地区の皆様にお逢い出来るのかまったく分かりません。一日も早く皆様とお話が出来るのを楽しみにしておりますのでコロナが収束した折には、是非呼んで下さい。今期も職業奉仕委員会を宜しくお願ひ致します。



公共イメージ委員会

委員長
土川 東（岐阜加納RC）

公共イメージ委員会委員長を拝命しました岐阜加納ロータリークラブの土川東です。今年度で3年目を迎えることになりました。昨年度は2630地区ホームページへのアクセス数増加への取り組み、My Rotaryの登録率アップに多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。

現在各クラブでさまざまな奉仕活動を実施されていますがその活動内容を、75クラブの公共イメージ/広報委員会から、ホームページ・チラシ・マスコミ等を通じて情報を発信しロータリアンだけでなく地域社会の方にも広く認知してもらいロータリーに対してよいイメージを持って頂けるよう努めたいと思っております。第2630地区の戦略計画にもあります通り「ロータリーの職業奉仕の理念およびロータリーが『倫理と高潔性』を強調する組織であることを社会に広く認知されるよう努める」を念頭に進めて行きたいと思っております。

ロータリーの広報活動は公共イメージを高めると共に会員増強、パートナーシップの拡大、そして寄付推進、奉仕活動への参加向上に繋がります。是非アイデアを出し合いよりよいものにしていきましょう。次にMy Rotaryへの登録状況ですが、これも何度もお話をさせて頂いておりますが現在2630地区の登録率は21.13%と低い状況です。

RIが目標する60%を目指して登録率アップを推進して行きたいと思っております。一人でも多くの方に登録をして頂けるよう地区事務所でサポートも致しております。次期に向けて繋げていく一年と致したく思っておりますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。

委員長就任挨拶並びに活動計画



会員増強委員会

委員長
中村 薫（鈴鹿RC）

皆さんこんにちは！どうぞよろしくお願い致します。

【会員を増やし、クラブを強くし、実のある奉仕を行い、世界平和に貢献する】【親睦を通じて、会員同士のつながりを良くし、コミュニケーションをとりながら真の心の友を作る】

ロータリークラブとはそういう団体ではないでしょうか。

ロータリーに入会すると、初日から何十人もの知人が生まれ、そしてその人達とは付き合えば、付き合いほど友情は深まり真の友となり、やがて自分にとってかけがえのない「親友」になるのです。素晴らしい事ではないでしょうか。

こんなロータリークラブの一員に一人でも多くの方をお誘いし、「ロータリーの仲間」「自分の友」を増やそうではありませんか。

毎年RI会長や地区ガバナーの発表される目標に必ず会員増強が含まれます。それだけ会員の増強はロータリーにとって重要事項という事だと思います。

特に今年度は、新型コロナウイルスの発生により、リーマンショック以来という経済が低迷している状態です。こういった時こそロータリアンが一丸となり、新しい会員を迎え、気分を高揚させ、真の友どうし手をつなぎ、ロータリーの奉仕と親睦を行なっていくではありませんか。

今年度の劔田ガバナーの掲げられた目標は、「クラブ純増1名達成」です。

そのため会員増強委員会は各クラブ「会員数の10%新会員獲得」を目標とさせて頂きました。

人口の減少、少子化が問題とされる昨今、この目標達成の為には、会員数の少ない40歳未満の会員、女性会員など、伸びしろのある手つかずの層にターゲットを広げて活動することが重要になってまいります。

今年度から新しく誕生する多様性推進小委員会、衛星クラブ推進小委員会と共に、皆様一人一人のお力を結集して、会員増強・維持に向けて活動してまいりたいと思いますので、ご支援ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。



多様性推進小委員会

委員長
川原 直美（熊野RC）

多様性推進小委員会は、劔田ガバナーにより今年度初めて設けられた委員会です。目的は、委員会名の通り多様なメンバーの増強にあります。

新型コロナウイルスで大変な折ではございますが、当委員会では今年度の目標として多様性という観点から外国人・若年層・女性など岐阜三重全体で20名の増強をめざします。

この多様なメンバーの増強という点ではホルガー・クナークRI会長が講演の中で、スザンヌのクラブの会員を例に挙げて多世代のクラブこれこそが理想と言われました。

- 1.若年層会員について：今年度RIは、ローターアクトもロータリーと位置付けています。若年層会員の入会はJCや商工会議所青年部を卒業してからと考えていらっしゃるクラブがほとんどではないでしょうか。しかし、卒業を待たずに入会して貰ったり、また前者に参加していない方に声掛けをして入会して貰ったりすることも可能かと考えます。私の所属する熊野ロータリークラブでは、『40歳以下でも入会しやすいように40歳までの入会者は年会費を下げる』といった工夫をしています。
- 2.女性会員について：当地区においては、女性会員の割合が少ないことも懸案のひとつではないかと考えます。クラブ自治の観点からは、男性しか入会を認めないというのも問題はないものだと考えます。しかし、多くの女性が世界中で数多く活躍する時代にふさわしいクラブ運営をもう一度クラブ全体で考えてみませんか。そして、「女性会員の入会」について、賛成反対を含め具体的なお意見や自クラブでの工夫などをお聞きしたいと思っていますので、地区事務所「多様性推進委員会川原」宛てにお送りいただければと思います。
- 3.外国人会員について：昨年私のお世話していた米山奨学生の担当教授が外国の方でした。その方は学生時代ロータリー奨学生でした。ロータリークラブの話をしたときに、「外国人でもメンバーになれるのですか？」と、外国人だから入れないと思われていたようでした。皆さんの周りにも、こう言った方がいらっしゃるかもしれません。多くの方がロータリーの扉を開いてともに仲間となれるようよろしくお願い致します。



衛星クラブ推進小委員会

委員長
大谷 浄治 (四日市RC)

今年度より新設された衛星クラブ推進小委員会委員長を拝命いたしました四日市ロータリークラブの大谷浄治です。衛星クラブは2013年RI規定審議会で新たに採択されたロータリークラブを結成するための新しいクラブの形です。ロータリークラブ設立のための手段の一つです。当地区ではおそらくあまり馴染みのないクラブの形態です。現在衛星クラブは世界で700クラブ以上、日本では12クラブが活動中です。

衛星クラブは、いわば「クラブの中にあるクラブ」(潜在的クラブ)です。衛星クラブはスポンサークラブとは別に例会を開きますが、通常のロータリークラブの規則に則って運営されます。衛星クラブは、新しいロータリークラブを立ち上げたいが、創立会員候補を20名すぐに集められない場合、少人数(最低8名)でスタートした後、時間をかけて通常のロータリークラブへと育てたい時に作ります。例会時間や年会費など入会のハードルを低く設定でき若い会員候補の入会が促進できます。衛星クラブ会員は、通常のロータリアンと同等の義務を負い、権利も与えられています。

衛星クラブは、ロータリークラブを結成する新しい方法です。衛星クラブが本格的なロータリークラブとなる準備が整った場合、ロータリークラブとなるための申請を行うことができます。ロータリーが過去に輩出してきた国際親善奨学生および各青少年プログラムを経験されたOB・OGの方などロータリーの活動に理解のある方々に入会して頂くことができます。

過去にローターアクト小委員会委員長を務めさせて頂いた際のネットワークを掘り起こし、手掛かりとして今年度の活動を始めてゆきたいと考えています。

全く白紙の状態ですが、一年間どうぞよろしくお願い致します。



奉仕プロジェクト部門

委員長
篠原 一行 (多治見リバーサイドRC)

ロータリー活動は、切実とした問題が山積みとなっている中で、それぞれのロータリアンが単なる傍観者ではなく、自らが行動をおこす責任があるとされています。奉仕プロジェクト部門は、本年度も地区内全てのクラブに「世界で良いことをしよう」と社会

奉仕委員会が地域で良いことをしようと、そして国際奉仕委員会が海外で良いことをしようと、呼びかけ続けることを最も大切な活動と計画しています。私たちの呼びかけをきっかけに、一人一人のロータリアンが心の中に「善意」の火を灯し、クラブの奉仕活動に繋げられるように勧めていきたいと考えます。

数年前より、地区財団部門の補助金制度活用推進を奉仕プロジェクト部門活動の一つの大きな流れに加え、その成果が少しずつ表れてきました。それは地区内全てのクラブが、より質の高い地域・海外への奉仕活動が行えるために、地区財団部門と手を組んで、地区内クラブと共に「世界で良いことをしよう」とするものです。

また何よりも大切なことは「全ての地区内クラブ会員がロータリーの一員であることに誇りを持ち、ロータリー旗の下で地域・海外で奉仕プロジェクト活動を実践し、結果として現地の人々と共に自らが起こした活動の完成を共に喜び合うことに参加できること」それら一連の活動を追い求める行動こそが、ロータリーの理念・理想であると考えます。何処にでも誰にでも奉仕のために駆けつけることが望ましい姿ではないでしょうか。ロータリアンは何処かで奉仕活動ができないかと常に考え、常に行動できる準備をすること、それらが身に付いてこそ、奉仕する理想のロータリアンであると思います。

最後に、ロータリーは機会の扉を開く、全てのロータリアンが色々な所で扉を開けて、多くの人たちと共に、未来のために、持続可能なプロジェクトを、愛を込めて実践して行くこと、次年度奉仕プロジェクト部門は、地区内各クラブへの支援活動を積極的に勧める部門委員会でありたいと考えます。



国際奉仕委員会

委員長
勝川 生年 (美濃加茂RC)

新年度より、奉仕プロジェクト部門の国際奉仕委員会委員長を拝命いたしました、美濃加茂ロータリークラブ所属、勝川 生年で御座います。

篠原委員長、西田委員長が蓄積して下さった奉仕活動の実績と太く繋がれた海外のクラブとの交流を途切れることの無いよう、微力な私ですが、皆様の御協力を頂き任期を務めさせて頂く思いです。

国際奉仕委員会の子な活動の中に、発展の途にある海外のクラブが自らの力だけでは困難なプロジェクトを協力国のクラブと連携する事で、より成果の伴うプロジェクトにしたいと願っています、この現状を地区内のクラブへアナウンスする役割があると思います、そして、地区内のクラブが海外に向けて

委員長就任挨拶並びに活動計画

の支援を行う為の段階的なお手伝いをさせていただきます、申請書の作成、グローバル補助金・ワールドファンド・WCS等の補助金申請などです。

現在も世界中で感染を拡大している「COVID-19」、この新たな傷跡が日本も含め劇的に発生したと思います、支援の必要性が細る事はありません。

月間のテーマ基本的教育と識字率向上・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康が掲げられていますが、これらは発展の途にある国が必要としているものです。

国際的な社会奉仕は先ず、相手国のクラブが支援の希望を発信します。そして日本のクラブが支援の手を差し伸べます。そして、そのプロジェクトが達成された時、溢れるような感謝を受け喜びと感動を経験することが出来るのです。皆様の御理解と参加を宜しくお願い致します。

入会3年未満の会員の52%が退会されてしまう、驚きのデータがあるようです。クラブの積極的な奉仕活動への取り組みは、クラブを活性化します、様々な活動を行う事により、クラブの魅力が増すのではないのでしょうか、魅力のあるクラブ作りは退会者予防のワクチンとなるでしょう。その奉仕活動に国際奉仕活動をご検討頂けたら幸いです。

2019-2020年度のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」2020-2021年度のテーマ「ロータリーは(あらゆる)機会の扉を開く」です。皆様のクラブが世界に向けて扉を開き、世界と繋がる事を願って、委員長就任のご挨拶とさせていただきます。



社会奉仕委員会

委員長
石田 公司 (美濃加茂RC)

新型ウィルスの流行に伴い、世の中の動きも混とんとした状況になりました。しかし、このような時こそ各クラブでもう一度活動をねり直す良い機会であるととらえましょう。社会奉仕委員会も皆様がより良い活動ができるようお手伝いをいたします。

- ①2019年度の訪問卓話は残念ながら3月以降全てコロナウイルスで中止になりました。今年は年間10回以上の訪問卓話の実現と岐阜県での卓話の増加を目指します。
- ②ガバナーによる各クラブの奉仕活動の事前アンケートはコロナのため実施できませんでした。次年度の事前アンケートは早期にできるよう働きかけ当委員会でもとめを支援させていただきます。
- ③補助金プロジェクトの完了時、その内容を地区のHPにアップするルールも定着しました。委員会では確実にフォローしていきます。

④環境、災害への取り組みを19-20年度同様今年度も続けていきます。19-20年度の結果はすでに各クラブへメール配信をし、6月号月信に掲載予定です。今年度もクラブ員の乗用車調査(排気量、自動ブレーキ、災害時電源車など)と植樹実施調査を行います。また災害時の家庭用ローカル電源が確保されているか合わせて調査します。災害時役に立つ水源の保護に務める活動を維持します。

⑤優れた奉仕活動を行ったクラブを時間に余裕があれば21年5月開催予定の地区大会で委員会表彰することを計画します。

⑥地区補助金プロジェクトのクラブ最低出資額が500\$に減額されます。クラブ負担が少なく済むので、補助金利用の件数が増加するよう支援します。またグローバルの奉仕活動は、財団の年次報告書の中などで多くの実例が出ています。皆様に見ていただくためにマイロータリーへのweb登録拡大を支援します。

さてウィズコロナ2年目の状況の中、どこまでできるか予断はできませんができる限り各クラブの社会奉仕活動を支援していきます。



青少年奉仕委員会

委員長
藤下 和也 (恵那RC)

今年は新型コロナウイルスの影響により青少年を取り巻く環境も大きく変わってしまいました。一時的とは言え学校や友達と過ごす時間が無くなってしまい1日のほとんどの時間を家で過ごし、親や兄弟など家族との関わりは増えて良かったかも知れませんが、逆に家にだけ居ることは想像以上の弊害としてこれからの子供達の人生に大きくのし掛かってしまったのではないかと思えてなりません。

何がのし掛かってしまったかと言うとそれは「ネット依存症」と言う人と触れ合うことのないバーチャルな世界に入り込んでしまった事です。決してネットが悪いわけではなく今や必要不可欠なツールでは有りますが、コロナショックのたった数ヶ月の間に多くの依存症人間が増えてしまった事は事実です。ネットで多くのことを知り、より多くの事を学んだ青少年も居るでしょうが、大人でさえやる事がなくゲームにのめり込んでいった人がたくさん居ると思われませんが、他にも子供を1人家に残して働かなくてはいけなかった家庭など、この数ヶ月をきちんと子供と向き合うことの出来なかった家庭の子供たちは悲惨です。

お互い顔を突き合わせてストレスがたまる事より1人バーチャルな世界でゲームをして時間を過ごす

この「時間」が長すぎるためにいわゆる「ネット依存症」「ゲーム依存症」として障害を引き起こすこととなります。

「ゲーム障害」は実は1人ではなく会って話した事もない人達と敵になったり、味方になったりしながらバーチャルな頭の中だけで感覚的に仮想友達になりながら不自然なネットワークを築いていきます。特に考える事もなく、良い事や悪い事の区別がなされないまま・思考が無いままにいろいろな事を共有していく事により「障害」となって脳にはびこる「ウイルス」みたいなものです。「障害」にならない状態で共存していく世界を意識しなければいけません。

私にとって青少年は生きて来た時代が違い過ぎる2世代も若い人たちです。時代背景は変えることが出来ませんから私たち大人は彼らの住む世界に少しでも近づき理解した上で、どのように接せる事が良いのかを考えながら奉仕の道を探らなければなりません。そしていろいろな方法で彼らと共に「他人のことを思う心」「気遣う心」を持った人間らしい生き方を教えて行かなければいけないと思っています。

一年間どうぞ宜しくお願い致します。



ローターアクト委員会

委員長
青山 正生 (本巣RC)

今年度、ローターアクト委員会の委員長を拝命しました本巣ロータリークラブの青山正生です。宜しくお願い申し上げます。

今期は、ローターアクト地区代表 杉森竜一君(四日市RAC)を中心にアクト活動を通じアクター各々が成長することによって地区全体も盛り上げ成長することが出来ます。現在、当地区では6クラブが活動を活動しており、RACの現状は次のとおりであります。

RACクラブ名	提唱クラブ名	創立日	会員数 (2020.1.30現在)
大垣西	大垣西RC	1973.11.24	6
四日市	四日市RC	1975.3.21	11
松坂	松阪RC・松坂東RC	1976.7.21	4
本巣	本巣RC	2012.6.16	22
四日市大学	四日市5グループRC	2015.7.10	13
岐阜聖徳大学	岐阜南RC	2017.2.10	20

表からも分かるように、歴史のあるクラブほど会員減少が深刻な状態です。ロータリアンの皆さんの会社の若手社員の教育にも最良の『学びの場』でもあります。是非、ローターアクトクラブへの入会をお勧めください。また、提唱クラブ以外のクラブは新クラブの結成もご検討くださると幸いです。私が2

年間ローターアクト行事に参加させて頂きアクト会員が回を重ねる毎に成長して行く姿を見て頼もしく思いました。ローターアクト提唱クラブ以外のロータリアンの皆さんも是非アクト活動に御参加いただき、先ずロータリアンがローターアクトの魅力・価値を知る事によって、青少年奉仕活動に御理解と御協力をいただける事と思います。

今年度、ローターアクト委員会の活動計画として、

①ローターアクト委員会 3回

(7月、2月、6月)

提唱クラブの委員長も出席していただき、各RACから活動報告などを発表していただきます。

②RAC会長幹事会 5回

(7月、9月、12月、2月、6月)

RAC会長幹事会に出席し助言等を行います

③ポリオ募金活動 地区大会における募金活動

RACのメンバーと一緒に募金活動を行います。

④その他RAC行事

地区年次大会、全国研修大会、他地区との交流会等に出席

を予定しておりますが、現在の状況から中止などもあると思われれます。

最後になりましたが、一年間会員の皆様のご協力とご指導を賜り委員会活動を進めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。



青少年交換委員会

委員長
平田 芳久 (四日市RC)

本年度、青少年交換委員長に就任いたします四日市ロータリークラブの平田芳久です。

第2630地区青少年交換員会で4年目を迎え、委員長を務めさせていただく事となりましたが、任務を全う出来るよう努めて参りたいと思えます。

昨年もロータリーの交換プログラムを通じ、9月に交換候補学生として6名を選考し、選ばれた交換候補学生は、本年度7月からの留学生生活を始めるために、英語でのスピーチの練習を始め、海外生活への準備を続けてきました。また、海外からは、昨年8月に3名、今年1月に3名の留学生が来日し、日本での留学生活に期待を寄せ、勉強に励んでいました。

しかしながら、今年に入ってからの世界的な新型コロナウイルスの蔓延により、今年度の交換プログラムは急遽中止されることになり、来日した交換留學生も母国からの帰国要請を受け、早期に帰国する事となりました。そのような中、当委員会の本年度の活動計画としては、新規の交換プログラムへの参

委員長就任挨拶並びに活動計画

加募集は見送りとなりましたが、昨年選考された交換候補学生の中で、年齢的に参加資格が有り、交換留学へ参加の意志がある学生に、再度2021年度の交換候補学生として、交換プログラムへの参加を促しました。

当委員会活動は、例年通りの行事開催は出来ない状況ですが、今後も第2630地区として交換プログラムを実施して行く中で、委員会メンバーが、ロータリーの青少年交換プログラムへのより理解を深めるために、交換プログラムに必要な資料の作成・整理を実施し、スムーズな委員会運営、オリエンテーション等が開催出来るよう、準備を進めたいと考えます。第2630地区の交換プログラムに参加するすべての学生が、安全で充実した留学生在活が送れるよう、活動をして参りますので、引き続き青少年交換委員会にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



インターアクトクラブ委員会

委員長
布目 美智男 (下呂RC)

日頃より、2630地区のロータリアンの皆様方には、インターアクトクラブの活動に対し、ご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

インターアクトクラブ委員長就任3年目の布目美智男です。新型コロナウイルスの影響により、教師部会をはじめ、韓国派遣事業、インターアクトクラブ年次大会を中止とさせていただきました。現在のところ飛騨地区の研修協議会においても中止が決定しております。当初予定していた行事がことごとく中止になる中、各務原中央ロータリークラブが解散をするということで、各務原西高校のインターアクトクラブもインターアクトクラブとしての活動を停止しなければならなくなりました。

また、各高校のインターアクトクラブにおきましても、入学式以来の休校のため、新入部員の勧誘もままならず、活動自体もできていない状況です。今後の活動についても、感染予防のため十分な活動も困難な状況にあると思います。このような状況になりましたので、活動計画は練り直しをしなくてはなりません。

6月に委員会を開催し、今後の活動方針を策定し委員会活動を展開していきます。

活動計画が決まり次第、各クラブに連絡しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

インターアクトクラブ委員長として今考えられることは、各高校のインターアクトクラブの活動状況の把握し問題点の抽出をし、解決に向けてのアドバイスや、スポンサークラブとの連携と協力をより一層し

てもらえるよう働きかけをしていきたいと思っています。

各務原西高校のインターアクトクラブの新しいスポンサー探しにも尽力していきたいと思っています。

また、新しいインターアクトクラブが発足してもらえるよう働きかけを行い地地地と思っています。地区内の各クラブのご協力を賜りますようお願いいたします。



ロータリー財団部門委員会

委員長
平井 義之 (松阪RC)

2020-2021年度地区ロータリー財団部門委員会の委員長を拜命致しました平井義之(松阪RC)と申します。本年度で三年目の委員長となり自分自身の委員会活動の総まとめとして励む所存です。どうぞよろしく御指導いただきますようお願い申し上げます。

今年は世界を揺るがす新型コロナウイルスの影響で、例年7月に開催されていましてロータリー財団セミナーは残念ながら中止とさせていただきました。

そこで当委員会ではセミナーにかえて、「ロータリー財団の使命」、「寄付金と補助金のシェアシステム」、そして「ポリオ根絶活動」等を収録しましたビデオと資料(冊子)を鋭意作成中ですのでしばらくご猶予下さい。

さて、「世界でよいことをしよう」というロータリー財団は「人道奉仕」を旨としています。現在のコロナ禍におきましてもRI第2630地区と地区ロータリー財団は医療支援事業として「医療用フェイスシールド」を下記のように寄贈致しました。紙面をお借りし、ご報告とお礼を申し上げます。

①岐阜県・三重県にフェイスシールド寄贈

辻直前ガバナーの発案でRI第2630地区より両県にフェイスシールド計4万セットが寄贈されました。その内、1万セット分(約1万ドル)を本年度ロータリー財団地区補助金から負担しました。

②海外(4か国)にフェイスシールド53万セット寄贈計画への参画

RI第2760地区(愛知県)伊藤靖祐ガバナーは海外4か国(ブラジル、ペルー、フィリピン、マレーシア)からの新型コロナ対策支援要請を受けて、グローバル補助金を原資とした総計53万セットのフェイスシールド寄贈計画を提案されました。この提案を受け、当地区ロータリー財団も辻直前ガバナーと協議の上、グローバル補助金1万6千ドルを協賛しました。

ロータリー財団の貴重な資金はすべてロータリアンお一人、お一人の尊いご寄付により成り立っています。心から厚くお礼申し上げますとともに今後のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



**ロータリー財団部門 資金推進小委員会
ロータリー平和フェロシップ小委員会**
委員長
本弘 路可 (津RC)

R財団資金推進小委員会並びにロータリー平和フェロシップ小委員会委員長を拝命いたしました津ロータリークラブの本弘路可です。

R財団資金推進小委員会は、R財団への理解を深めると共に、自分たちも奉仕活動を実践するための寄付の増進に努力する委員会です。

コロナ禍により、年2回開催していたR財団研修セミナーが中止となり、11月のR財団月間卓話講師の派遣も、コロナ第2波の懸念により危ぶまれております。そこで、今年度は、動画のデジタル配信による説明と地区財団ハンドブックの配布に替えさせていただきます。どうかご理解ください。

R財団の今年度第一の優先事項は、ポリオ根絶です。第二の優先事項は、2025年までに20億2,500万ドルとする恒久基金寄付の増進と年次基金とポリオプラス基金への寄付を増やすことです。釧田ガバナも当地区の寄付目標額を

- ・ポリオプラス基金寄付30ドル／1会員
- ・恒久基金寄付1,000ドル／1クラブ
- ・年次基金寄付150ドル／1会員

とされましたのでご協力をお願い致します。

ロータリー平和フェロシップ小委員会は、世界に8校あるロータリー平和センター提携大学で学ぶ奨学生(130名/年)へ、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用の全額が授与される奨学金制度です。世界平和の推進について学びたい優れた候補者を推薦して下さい。

コロナ禍で経済活動が制限された苦しい時期と拝察致しますが、R財団への寄付は、「新型コロナやポリオ等感染症を根絶するための投資」でもあるとお考えいただき、ご協力をよろしくお願い致します。



**ロータリー財団部門
ポリオ・プラス小委員会**
委員長
河地 勝彦 (多治見RC)

今年度ポリオ・プラス小委員会の委員長を拝命いたしました河地勝彦と申します。行動力を持って活動し、皆様のご協力を頂き一人でも多くの方々を巻き込みながら当小委員会の活動に取組んでまいります。若輩者では御座いますがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

当小委員会の活動内容としましては昨年度に引き続き、

- (1)RIのプロジェクトの一つであるポリオの根絶に協力し世界ポリオデーへの参加呼びかけを行う
- (2)クラブ・地区・活動時、ポリオ根絶の基金への募金活動を行うとなります。

ポリオ(Acute poliomyelitis、急性灰白髄炎)とは、ポリオウィルスの中枢神経感染により生ずる四肢の急性弛緩性麻痺(acute flaccid paralysis: AFP)を典型的な症状とする疾患であり、かつては小児に多発したところから日本では小児麻痺とも呼ばれていました。日本をはじめ多くの国にはワクチン接種が行き渡り全世界の99%で発症を抑えられているなか、「ポリオ常在国」と呼ばれる国はパキスタン、アフガニスタンの2ヶ国を残すだけとなりました。ポリオウィルスは糞便、飲み水、食物から口に入り腸内で繁殖する人にだけ感染する病気です。一度感染すると治療方法はなく、したがって予防ワクチンの接種のみが現状での根絶手段です。現在、全世界にパンデミックを起こし、多くの犠牲者をだし、生活形態まで変化せざるをえない事態を生んでいるコロナウイルス(COVID-19)ですがこの見えない敵への恐怖は感染力の強さや効果的な治療薬がないということもさることながら、やはり効果的なワクチンなく予防策を取れないという事にあります。幸いこの病気に対するワクチンは確立され発生を抑えることは可能です、ワクチン接種さえ行き渡れば世界からこの感染症を根絶する事が出来ます。

子供達への予防ワクチン接種、ポリオ感染の積極的な監視を70ヶ国で毎日実施するための予算なども含め55億ドルの資金が必要とされています、子供たち他クラブ含め多くの諸団体との連携が必要となります、そして子供一人一人にポリオワクチンの接種を行う必要があることには変わりありませんがそれは活動のごく一部にすぎません、そのような状況をメンバーの皆様へ発信し理解を深めご協力を仰ぐそんな活動をしていきます。

新型コロナウイルスの影響により様々な制限があるとは思いますがご協力のほど宜しくお願い致します。



**ロータリー財団部門
資金管理小委員会**
委員長
加瀬 久照 (津RC)

地区内各クラブの皆様へ、ロータリー財団補助金を公平かつスムーズに活用していただける為に、「MOU」の覚え書きを交わして頂き、いつ何時でも補助金が活用できるための準備、補助金活用にあたり「授与と受託の条件」をご理解頂き効果的で有意

委員長就任挨拶並びに活動計画

義、適切な事業の実施を、お手伝いさせて頂く事が我々委員会の活動でございます。

また、ポリオ根絶に貢献いただけるロータリークラブカードのご紹介もさせて頂いております、よろしくお願いいたします。

地区内各クラブの皆様には大変お世話になります、何卒ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



ロータリー財団部門 補助金小委員会

委員長
堀部 哲夫（関RC）

補助金小委員会の役目は、地区内すべてのクラブが、グローバル補助金と地区補助金を有効に利用できるような手助けをすることです。2630地区ロータリー財団部門は、年2回研修セミナーを開催して補助金の普及を図ってきました。お陰様で、地区補助金については、毎年20件以上の申請を頂き、地区内ほとんどのクラブが一度は地区補助金を利用しています。グローバル補助金についても徐々に利用されるようになりましたが、さらにご理解頂けるようにさらに努力していきます。

本年はCOVID-19の影響で財団研修セミナーの開催が危うくなっています。セミナーが開催出来ない場合は、クラブにはセミナーに代わる様々な手法で補助金についてご説明をして行く予定です。しかし、初めて財団委員長になられたメンバーにとって補助金申請方法が良く分からないなど不明な点が多々発生すると思います。その際は、どんな些細なことにもお答えしますので地区事務所又は委員会メンバーにお問い合わせください。

さて、本年度も24件の地区補助金申請が有りました。21件の奉仕プロジェクトと3件の奨学金申請です。全てが採択され、TRF（国際ロータリーのロータリー財団）の承認が下り次第、クラブに補助金を支給します。しかし、COVID-19の影響で、予定したイベントが開催できなくなり、補助金が使えなくなるクラブも出てくるかもしれません。その場合、2020年3月15日までさかのぼってCOVID-19対策事業に地区補助金を使用することが出来ます。その際は、まず委員会にご連絡ください。一緒に、その対策を考えて行きましょう。

ロータリー財団部門では、毎年、地区補助金奨学生を2～3名、グローバル補助金奨学生を1～2名出しています。奨学生のスタートはクラブの推薦からです。学生からクラブに奨学生応募の問い合わせがあった時には是非話を聞いてやってください。不明な点は、委員会で対応しますのでご一報ください。

本年度、一年間お世話になりますが、宜しくお願いいたします。



米山記念奨学委員会

委員長
伊藤 晃宏（鈴鹿シティRC）

今年度、新しく米山記念奨学委員長を務めさせていただきます伊藤です。宜しくお願いいたします。

さて、米山奨学事業は4月から3月までとなっております、現状をお伝えすることで就任のご挨拶とさせていただきます。

現在、社会がこの状況の中、事業が開始されており今期米山奨学生の受入については、19名を選出し各世話クラブへ配属いたしました。岐阜地区11名・三重地区8名（男性10名・女性9名）です。

また、一つの問題として今までに中国の方が多く各大学より推薦され奨学生の70%となっております。今年度も（去年6月）大学関係者に集まっていたいただき、米山奨学制度の説明と、一つの国に偏らないように説明させていただきました。（村瀬前委員長）

その結果、4月からの奨学生は約36%（中国出身）になり、世界各国から留学生を選考することができました。（韓国、インドネシア、タイ、ミャンマー、エジプト、ベトナム、スリランカ、カンボジア、ネパール）

また、委員会としては、10月の米山月間において講師依頼のあったクラブには、奨学生の協力をえて例会に訪問しスピーチをしたいと思っております。米山記念奨学制度を理解していただくいい機会だと思います。

そして世話クラブに関しては、各グループで5年に1度受けていただくようにご依頼いたします。今までは、大学の近いRCへお願いしておりましたが、大学からの距離やクラブメンバー人数に関係なく順番に世話クラブをお願いすることになりました。各クラブのカウンセラーの役割は、大きく事前の研修会を開催致しますのでご参加をお願いいたします。

この1年この状況の下、委員会メンバーと協力をし事業を推進していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

退任のあいさつ

2019-20年度
RI第2630地区ガバナー 辻 正敏(津RC)

今までに誰も経験したことのない年度が終了しました。12グループのIM.を間に挟みながらの公式訪問で始まり、地区大会を終え、ロータリー研究会を済ませてホッと一息。新年を迎えて「さあ、次期へのバトンタッチに向けて」と予定しておりました。当時の劔田ガバナーエレクトも国際協議会から戻られ、新しい年度の抱負をたくさん胸に、様々な企画を検討されておみえでした。

ところが新型コロナウイルス「COVID-19」の猛威。これには世界中の何もかもが動きを停止してしまいました。正体のわからぬウイルスに医療関係も大混乱している様子も伝えられました。ロータリーも止まってしまいました。そのような中で迎えた次期の活動への研修である会長エレクト研修セミナー(PETS)や地区研修・協議会を感染防止のため集合せずに行うこととしました。劔田ガバナーも大変ご苦心されながら、国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏の「ロータリーは機会の扉を開く」や劔田ガバナーご自身の「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」の実現に向けての思いを地区内の会長の皆様、クラブ委員長の皆様に伝達いただきました。劔田ガバナーには本当にご苦労をおかけいたしました。

このコロナ・ショックによって考えさせられた人間としての新しい生き方を求めて、新しいロータリーの旅が始まりました。私もロータリアンとしてその旅に参加できることが嬉しく、そして参加することへの感謝を忘れてはなりません。どのような旅となるのか楽しみです。過去は変えられませんが、未来はこれから築くもの。劔田ガバナーが今という足元をしっかり踏み締めて、輝く明日への一步を踏み出されることをお祈りし、皆様に大変お世話になった一年のお礼の挨拶といたします。

ありがとうございました。

辻 正敏ガバナー謝辞

2020-21年度
RI第2630地区ガバナー 劔田 廣喜(高山中央RC)

辻ガバナー、この1年間大変ご苦労様でした。

後半はコロナ禍の為にガバナーの職務が制限され、不完全燃焼のところもあったと拝察しますが、私たちにとりましては記憶に残るガバナーでした。

ロータリーとロータリー財団は独立した法人ですが、理念上も、実際上も、ワンロータリーとして機能しています。ひとつのロータリーとして一致団結することで、ロータリーは使命を果たすための強い土台を築いています。そんなロータリーの潮流の中、長年ロータリー財団で活躍され、ロータリー財団については熟知されておられる、辻ガバナーが登場されたことはまさに時代の要請であったと思います。

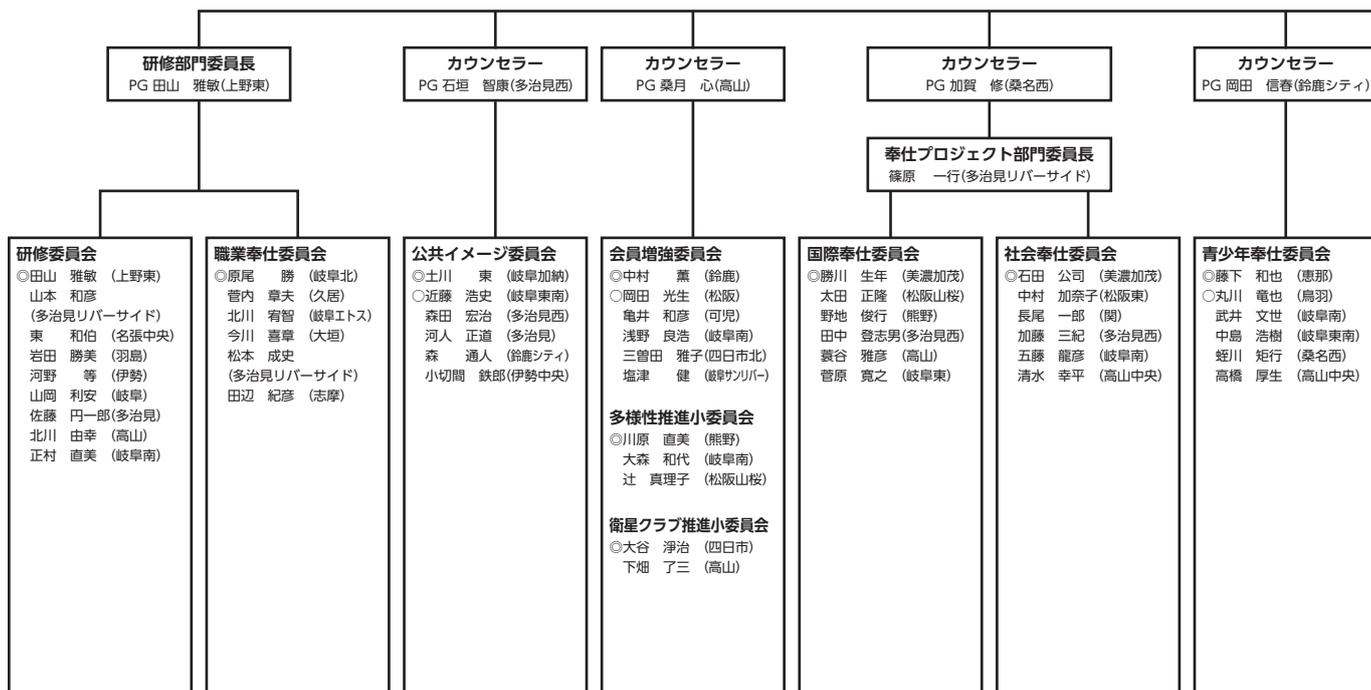
私たちには平易な言葉でロータリーをご指導いただき、各クラブには時間をかけて懇切にリーダーシップを発揮されました。特に辻ガバナーのスピーチの上手さには驚くばかりで、間の使い方は、絶妙でした。辻ガバナーには、たくさん勉強をさせていただき、次を引き受けることは大変ですが、これからはパスト・ガバナーとしてご協力を賜りますようお願い致します。

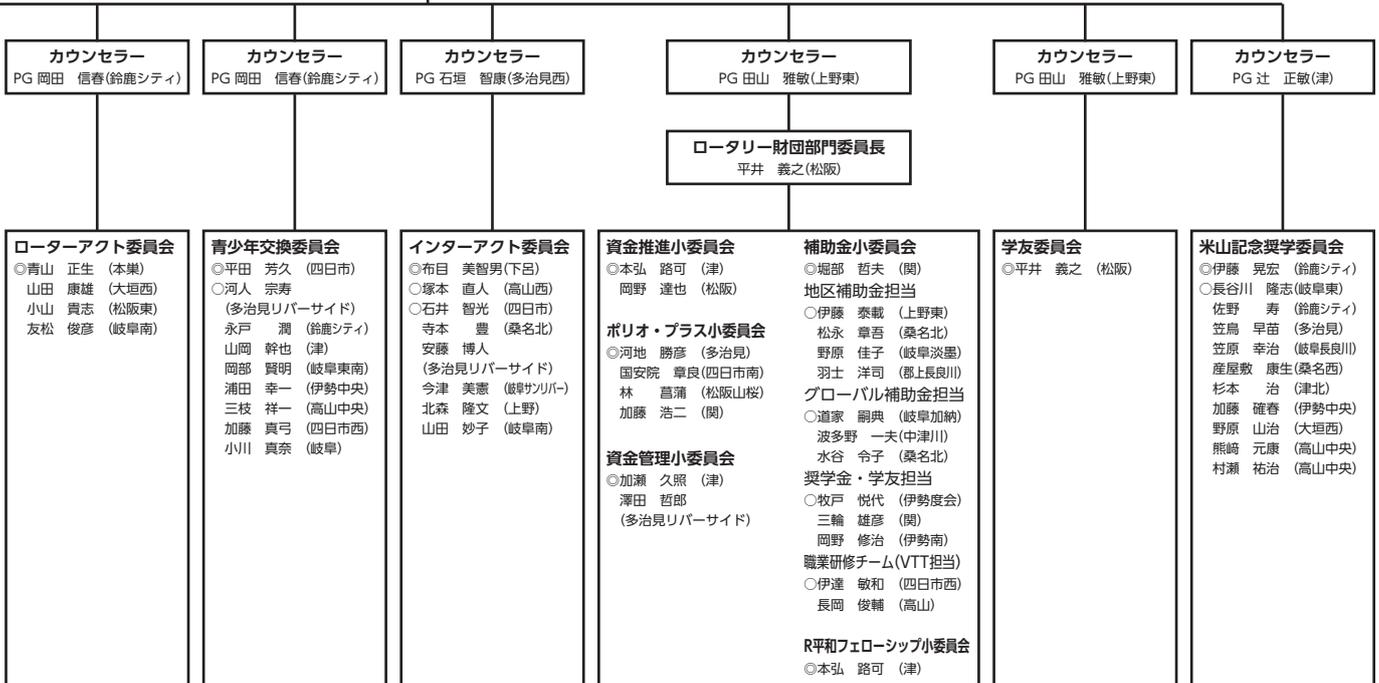
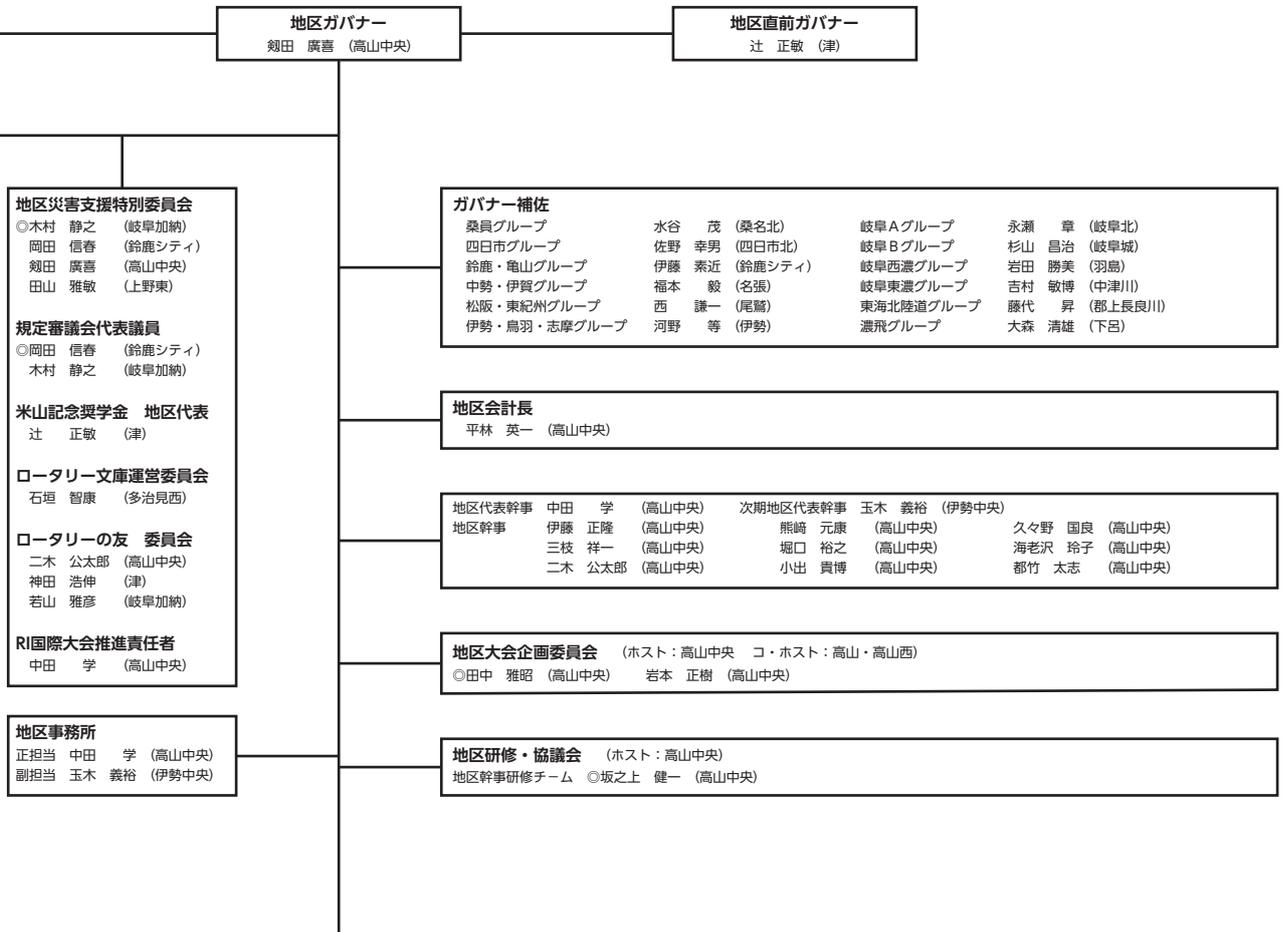
この世界は矛盾に満ちており、人間が人間である限り社会の矛盾は解決されないのかもしれませんが。この世界がひとつになることもないのかもしれませんが。ひとつになることができないのであれば、お互いの多様性を認めればいいのです。お互いに自分の主張を唯一の正解と考えるから争いが生まれるのです。人類皆兄弟という言葉が、名目的に使われるのではなく、お互いに兄弟のように尊重できるようになれば、それぞれの主義・主張が違ったとしても仲良くできるようになるかもしれません。

そのことを辻ガバナーは、絵天然色と言われたのではないかと感じています。



2020-2021年度 国際ロータリー第2630地区役員組織表





2020-21年度 地区行事予定表(上半期)

●今後新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定が変更となる可能性があります。

7

2020 July

日	曜	公式訪問・行事
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	運営会議/諮問委員会 地区大会企画会議(延期)
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	公訪 郡上八幡RC・郡上長良川RC (中止)
16	木	
17	金	
18	土	第1回地区R財団セミナー (中止)
19	日	◎次期AG予定者会議 (名古屋)
20	月	公訪 松阪RC・松阪東RC・ 松阪山桜RC(開催延期)
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

8

2020 August

会員増強・新クラブ結成推進月間

日	曜	公式訪問・行事
1	土	第43回2630地区IA年次大会 (中止)
2	日	第43回2630地区IA年次大会 (中止)
3	月	
4	火	公訪 上野RC・名張RC・ 上野東RC・名張中央RC
5	水	公訪 熊野RC・尾鷲RC
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	公訪 下呂RC
18	火	公訪 伊勢RC・伊勢南RC
19	水	
20	木	
21	金	公訪 伊勢中央RC・伊勢度会RC
22	土	公訪・GTM 岐阜AG
23	日	
24	月	
25	火	公訪 鳥羽RC・志摩RC
26	水	公訪 多治見RC・多治見西RC・ 多治見リバーサイドRC
27	木	
28	金	
29	土	公訪・GTM 鈴鹿・亀山G
30	日	
31	月	

9

2020 September

基本教育と識字率向上・ロータリーの
友月間

日	曜	公式訪問・行事
1	火	公訪 美濃RC・関RC・関 中央RC(中止)
2	水	
3	木	公訪 美濃加茂RC・可児RC (中止)
4	金	公訪 瑞浪RC・土岐RC
5	土	公訪・GTM 四日市G (GTMのみ中止)
6	日	GTM 東海北陸道G
7	月	
8	火	公訪 恵那RC・中津川RC・ 中津川センターRC
9	水	公訪 各務原RC・各務原か かみのRC
10	木	
11	金	
12	土	公訪・GTM 岐阜BG (中止)
13	日	
14	月	
15	火	GTM 岐阜西濃G
16	水	
17	木	公訪 高山RC・高山西RC・ 高山中央RC(中止)
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	公訪 津RC・津南RC・津北RC・ 久居RC
25	金	
26	土	GTM 中勢・伊賀G
27	日	
28	月	公訪 下呂RC(日程変更)
29	火	
30	水	

10

2020 October

経済と地域社会の発展・米山月間

日	曜	公式訪問・行事
1	木	
2	金	
3	土	運営会議/諮問委員会 AGCC会議(中止)
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	GTM 岐阜東濃G
9	金	
10	土	
11	日	GTM 濃飛G(中止)
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	公訪・GTM 桑員G
16	金	
17	土	第2回地区R財団セミナー
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	GTM松阪・東紀州G

11

2020 November

ロータリー財団月間

日	曜	公式訪問・行事
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	地区大会(高山) 開催延期
8	日	地区大会(高山) 開催延期
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	◎次期AG・CCセミナー (名古屋)
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	GTM 伊勢・鳥羽・志摩G
29	日	
30	月	

12

2020 December

疾病予防と治療月間

日	曜	公式訪問・行事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	運営会議/諮問委員会 AGCC会議 GE壮行会
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

4

2021 April

母子の健康月間

日	曜	公式訪問・行事
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	◎地区研修・協議会(伊勢市)
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

5

2021 May

青少年奉仕月間

日	曜	公式訪問・行事
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	地区大会(高山)
30	日	地区大会(高山)
31	月	

6

2021 June

ロータリー親睦活動月間

日	曜	公式訪問・行事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	↑ RI国際大会(台北)
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	↓
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	運営会議/諮問委員会 地区役員引継会
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

第2630地区 クラブ一覧(三重)

グループ	ガバナー補佐	クラブ名	クラブ会長	クラブ幹事	例会曜日	点 鐘	例 会 場
桑名グループ	水 谷 茂	桑 名	水 谷 新 平	伊 藤 明 人	月	12:30	桑名シティホテル5 F
		桑 名 西	小 川 浩 司	後 藤 昭 夫	水	注①	桑名シティホテル5 F
		桑 名 中 央	伊 藤 嘉 恭	石 井 清 夫	金	12:30	ホテル花水木
		桑 名 北	清 水 啓 史	水 谷 令 子	木	19:00	桑名シティホテル5 F
四日市グループ	佐 野 幸 男	四 日 市	市 川 克 美	平 田 芳 久	木	12:30	都ホテル四日市3 F
		四 日 市 北	林 鍾 夏	松 岡 賢	火	12:30	四日市大学 6号館5 F 交流サロン
		四 日 市 西	大 矢 知 直 登	齋 藤 雅 彦	金	12:30	都ホテル四日市16 F
		四 日 市 南	清 水 常 雄	加 門 賀 子	水	12:30	四日市シティホテル4 F
		四 日 市 東	和 田 山 久 司	松 本 玉 旗	月	12:30	四日市シティホテル3 F
鈴鹿・亀山グループ	伊 藤 素 近	鈴 鹿	清 水 慎 一 郎	安 藤 雅 夫	水	12:30	鈴鹿商工会議所4 F
		鈴 鹿 西	森 豊	勇 理 維 子	火	12:30	鈴鹿商工会議所4 F
		鈴 鹿 ベ イ	中 野 強	中 村 悟	木	18:30	鈴鹿サーキットホテル ミーティングルーム1
		亀 山	田 中 博 之	森 口 喜 義	月	18:30	亀山商工会館2 Fホール
		鈴 鹿 シ テ ィ	恩 田 幹 夫	森 下 晃	水	19:00	鈴鹿商工会議所4 F
中勢・伊賀グループ	福 本 毅	津	竹 林 憲 明	別 所 信 啓	水	12:30	都シティ津5 F
		上 野	榊 原 成 人	堀 之 内 壯 平	火	12:30注②	ヒルホテルサンピア伊賀
		名 張	浅 津 英 明	井 上 隆 稔	月	12:30注③	名張産業振興センター1 F
		津 南	何 川 高	日 南 田 隆 司	火	12:30	都シティ津5 F
		津 北	高 臣 文 祥	柄 山 邦 明	木	12:30	富士ゼロックス三重株4 F会議室
		上 野 東	鈴 木 孝 治	小 林 健 二	木	注④	ヒルホテルサンピア伊賀
		久 居	下 里 義 治	大 野 寛	月	12:30	久居グリーンホテル
		名 張 中 央	玉 置 英 治	大 久 保 和 英	水	12:30注③	名張産業振興センター1 F
松阪・東紀州グループ	西 謙 一	松 阪	刀 根 唯 誌	小 津 博 英	水	12:30	桑名三重信用金庫日野町支店3 F
		松 阪 東	竹 内 秀 樹	内 田 俊 哉	月	12:30	松阪商工会議所3 F
		熊 野	片 岡 博 也	斎 藤 友 紀	木	注⑤ 12:30/19:00	新宮信用金庫熊野支店3 F・みどりや
		尾 鷲	杉 山 誠	内 山 英 則	水	注⑥ 12:30/19:00	尾鷲商工会議所3 F
		松 阪 山 桜	北 出 誠	山 下 茂 紀	木	19:00	フレックスホテル
伊勢・鳥羽・志摩グループ	河 野 等	伊 勢	宇 治 土 公 貞 尚	田 畑 知	火	12:30	伊勢商工会議所4 F中ホール
		鳥 羽	中 村 和 寛	吉 田 一 喜	水	12:30	鳥羽商工会議所2 F 特別会議室
		伊 勢 南	河 村 幸 久	前 田 晃	木	12:30	伊勢商工会議所4 F中ホール
		志 摩	橋 爪 淳 子	小 林 教 郎	火	12:30	注⑦ Hotel&Resorts ISE-SHIMA・株賢島宝生苑
		伊 勢 中 央	濱 千 代 裕 章	中 村 基 記	金	12:30	伊勢商工会議所4 F中ホール
		伊 勢 度 会	田 ヶ 原 博 史	西 村 由 佳	水	12:30	伊勢シティホテル2 F

注① 第1・3・5週 12:30～ 第2・4週 18:00～
 注② 第5週のみ 18:30～
 注③ 第1・5週 18:30～
 注④ 第1・2・4週 12:30～ 第3・5週 18:00～

注⑤ 例会の時間・会場については、その都度午前中に事務局にお問い合わせください
 第1・3・4・5週 12:30～ / 第2週 19:00～
 注⑦ 第1週 Hotel&Resorts ISE-SHIMA 第2～5週 株賢島宝生苑
 注⑧ 7月、11月、3月、4月の最終週 18:30～
 名張産業振興センター2F

事務所所在地	TEL	FAX	E-mail
511-0068 桑名市中央町3-23 桑名シティホテル2F	0594-24-2244	0594-24-6969	rotary@kuwana.ne.jp
511-0068 桑名市中央町3-23 桑名シティホテル4F	0594-21-6253	0594-24-6253	w-rc@kuwana.ne.jp
511-0068 桑名市中央町3-23 桑名シティホテル4F	0594-22-9878	0594-22-9889	kchuo-rc@hb.tp1.jp
511-0068 桑名市中央町3-23 桑名シティホテル4F	0594-27-2800	0594-27-2801	kuwana-n@alpha.ocn.ne.jp
510-0075 四日市市安島1-3-38 都ホテル四日市2F	059-353-1616	059-353-1600	yrcc@poem.ocn.ne.jp
512-8512 四日市市董生町1200 四日市大学6号館5階6504号室	059-363-0456	059-363-0483	ynrc@vega.ocn.ne.jp
510-0075 四日市市安島1-3-38 都ホテル四日市2F	059-353-0349	059-352-7873	ywrc@pure.ocn.ne.jp
510-0086 四日市市諏訪栄町7-28 四日市シティホテル5F	059-353-2233	059-353-2243	ysrc07@yahoo.co.jp
510-0086 四日市市諏訪栄町7-28 四日市シティホテル2F	059-355-1645	059-355-2400	office@yerc.org
513-0802 鈴鹿市飯野寺家町816 鈴鹿商工会議所3F	059-382-4624	059-382-2216	suzukarc@mecha.ne.jp
513-0802 鈴鹿市飯野寺家町816 鈴鹿商工会議所3F	059-383-7077	059-383-0501	info@rotary-suzuka-west.org
510-0201 鈴鹿市稲生町7992 鈴鹿サーキットホテル内	059-379-2484	059-379-2770	office@suzukabay-rc.org
519-0124 亀山市東御幸町39-8 亀山商工会館3F	0595-83-2625	0595-82-8077	kameyama@aqua.ocn.ne.jp
513-0809 鈴鹿市西条4-20 ギャラリーオカトモ102	059-381-2630	059-381-2631	suzuka@city-r.net
514-0033 津市丸之内29-14 津商工会議所4F	059-228-0243	059-228-0283	tsurc@quartz.ocn.ne.jp
518-0873 伊賀市上野丸之内500 ハイトピア伊賀3F	0595-24-3100	0595-24-6292	ueno-rc@ict.ne.jp
518-0729 名張市南町822-2 名張産業振興センター4F	0595-63-1338	0595-63-8163	nabarirc@e-net.or.jp
514-8578 津市大門7-15 都シティ津 1F(2020年7月1日～)	059-225-2373	059-213-6175	src.tsu@dream.ocn.ne.jp
514-8578 津市栄町1-817 富士ゼロックス三重(株)内	059-229-2097	059-229-2282	info@tsu-north-rc.com
518-0809 伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内	0595-24-4650	0595-24-4656	u-eastrc@ict.ne.jp
514-1122 津市川方町928-1 久居グリーンホテル別館3F351号室	059-255-1234	059-255-1238	hisai-rc@zvtv.ne.jp
518-0729 名張市南町822-2 名張産業振興センター4F	0595-63-9834	0595-64-6951	nachuorc@nava21.ne.jp
515-0084 松阪市日野町585-2 桑名三重信用金庫日野町支店2F	0598-22-3322	0598-22-3323	mrc@sirius.ocn.ne.jp
515-0014 松阪市若葉町161-2 松阪商工会議所3F	0598-52-0851	0598-51-8129	ma-erc@ma.mctv.ne.jp
519-4324 熊野市井戸町349-1 熊野市林業会館内	0597-85-2110	0597-85-2118	kumanorc@sirius.ocn.ne.jp
519-3617 尾鷲市野地町12番37号(2020年7月1日～)	0597-22-7038	0597-22-7038	owase-r@az-s.com
515-0019 松阪市中央町36-18 フレックスホテル1F	0598-52-6555	0598-52-6556	myrc@email.plala.or.jp
516-0037 伊勢市岩渕1-7-17 伊勢商工会議所4F	0596-23-2212	0596-27-2220	iserc@amigo2.ne.jp
517-0022 鳥羽市大明東町1-7 鳥羽商工会議所2F	0599-25-6039	0599-26-4588	tobarc@poplar.ocn.ne.jp
516-0037 伊勢市岩渕1-7-17 伊勢商工会議所4F	0596-28-2560	0596-24-3736	ises-rc@trust.ocn.ne.jp
517-0501 志摩市阿児町鵜方2011-1 NTT阿児ビル3F	0599-43-6355	0599-43-6256	shima.rc@abeam.ocn.ne.jp
516-0037 伊勢市岩渕1-7-17 伊勢商工会議所2F	0596-27-0072	0596-27-5996	isechuo@amigo2.ne.jp
516-0073 伊勢市吹上1-11-31 伊勢シティホテル3F	0596-22-7727	0596-22-7757	iw-rc@arion.ocn.ne.jp

第2630地区 クラブ一覧(岐阜)

グループ	ガバナー補佐	クラブ名	クラブ会長	クラブ幹事	例会曜日	点 鐘	例 会 場
岐阜Aグループ	永瀬 章	岐 阜	所 洋 士	上 松 泰 歳	金	12:30	都ホテル岐阜長良川
		岐 阜 西	篠 田 正 男	尾 関 恵 一	月	12:30	都ホテル岐阜長良川
		岐阜長良川	辻 寛	佐 曾 利 茂 之	土	12:30	岐阜グランドホテル
		岐 阜 北	前 田 吉 彦	林 隆 行	水	12:30	都ホテル岐阜長良川
		岐 阜 中	三 宅 裕 樹	篠 田 た つ 糸	火	12:30	都ホテル岐阜長良川
岐阜Bグループ	杉山昌治	岐 阜 南	鈴 木 敏 昭	安 田 知 永	木	12:30	岐阜グランドホテル
		岐 阜 東	林 則 之	川 崎 芳 浩	火	12:30	都ホテル岐阜長良川
		岐阜東南	毛 利 敏 忠	藤 井 達 郎	金	12:30	ホテルグランヴェール岐山
		岐阜加納	小 野 優	平 松 洋 一	金	18:30	ホテルグランヴェール岐山
		岐阜エトス	北 川 宥 智	土 屋 博 史	月	12:30	岐阜グランドホテル
		岐 阜 城	三 島 隆	長 屋 貴 之	水	12:30	都ホテル岐阜長良川
岐阜西濃グループ	岩田勝美	大 垣	竹 中 裕 紀	宮 内 靖 人	水	12:30	大垣フォーラムホテル
		大 垣 西	日 比 利 雄	川 瀬 尚 志	火	12:30	大垣フォーラムホテル
		本 巣	鷲 見 芳 男	青 山 正 生	火	12:30	コミュニティホール サン・プラスバ
		羽 島	野 中 学	西 松 永 根	火	12:30	西松亭
		不 破	米 山 幸 夫	柳 瀬 信 治	木	12:30	大垣西濃信用金庫垂井支店2F
		大 垣 中	田 中 勝 治	目 黒 仁	注④	12:30	大垣フォーラムホテル
		大垣センチュリー	木 村 順 一	渡 邊 哲 也	月	注①	大垣フォーラムホテル
		岐 阜 淡 墨	清 水 浩 一	上 村 聖 二	木	12:30	大垣フォーラムホテル
岐阜サンリバー	片 野 國 太 郎	渡 邊 浩 行	月	12:30	大垣フォーラムホテル		
岐阜東濃グループ	吉村敏博	多 治 見	加 藤 芳 晴	松 本 達	水	12:30	多治見市産業文化センター4F
		中 津 川	長 野 和 夫	前 野 求 重	木	12:30	中津川商工会議所3F
		瑞 浪	有 賀 和 秋	小 倉 道 生	金	12:30	瑞浪商工会議所2F
		恵 那	纈 纈 雅 治	柘 植 典 之	火	12:30	倶楽部いち川
		土 岐	伊 藤 智 成	高 野 温 示	月	12:30	土岐商工会議所5F大ホール
		多 治 見 西	佐 藤 正	関 谷 泰 久	木	12:30	多治見市産業文化センター4F
		中津川センター	鷹 見 幸 久	佐 古 和 也	月	12:30	中津川商工会議所3F
		多治見リバーサイド	澤 田 哲 郎	稲 垣 純 平	火	12:30	多治見市産業文化センター4F
東海北陸道グループ	藤代昇	美 濃	村 下 尙 刑	小 川 和 豊	金	12:30	美濃緑風荘
		各 務 原	小 島 博 彦	左 高 洋	注③	19:30	各務原市産業文化センター2F
		関	木 村 聡	酒 向 徳 享	火	12:30	大垣共立銀行関支店2F
		郡 上 八 幡	岩 尾 誠	三 原 慎 也	木	12:30	(株)八幡建設2F
		関 中 央	川 村 紳 一	石 原 妙 生	木	18:30	関観光ホテル
		郡上長良川	畑 中 知 昭	松 森 正 和	水	注②	白鳥町農業指導研修センター2F
		各務原かかみの	可 児 昌 則	鄭 求 君	水	18:30	げんそう別荘「都わすれ」
濃飛グループ	大森清雄	高 山	河 合 清 文	北 川 由 幸	木	12:30	高山信用金庫本店3F大会議室
		下 呂	森 本 繁 司	成 瀬 巧	月	12:30	(株)水明館
		高 山 西	塚 和 信	下 屋 勝 比 古	金	12:30	大垣共立銀行高山支店4F
		美 濃 加 茂	小 原 岳 史	石 田 公 司	金	12:30	シティホテル美濃加茂
		可 児	可 児 整	田 畑 広 樹	木	12:30	グリーンキャメロットリバーサイド(2020年7/1~)
高 山 中 央	村 瀬 祐 治	岡 崎 壮 男	月	12:30	ひだホテルプラザ		

注① 第1・3週 18:30～ 第2・4・5週 12:30～
 注② 6月～9月末まで19:00～20:00に変更 他の月は通常通り18:30
 注③ 第2、第4 水曜日
 注④ 第1、2、4週 金曜日

事務所所在地	TEL	FAX	E-mail
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	office@gifu-rc.jp
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	gifuwest@vesta.ocn.ne.jp
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	nagararc@ccom.or.jp
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	info@gifunaka.com
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	info@gifunaka.com
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	gfs-rc@ccom.or.jp
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	gifu-east.rc@alato.ne.jp
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	gifu-tonan@ccom.or.jp
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	kanou-rc@ccom.or.jp
500-8368 岐阜市宇佐三丁目4-3 特許業務法人 広江アソシエイツ特許事務所 5F	058-276-2164	058-268-7063	gifu-ethos@hiroco.co.jp
500-8727 岐阜市神田町2丁目 岐阜商工会議所3F	058-264-9235	058-266-4753	gifu-castle.rc@alato.ne.jp
503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目35-10 大垣市情報工房4F	0584-82-5200	0584-74-4541	ogaki4rc@helen.ocn.ne.jp
503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目35-10 大垣市情報工房4F	0584-82-5200	0584-74-4541	ogaki4rc@helen.ocn.ne.jp
501-0204 瑞穂市馬場春雨町1丁目44 アーバン藤105号	058-201-7070	058-201-7071	motosurc@nifty.com
501-6255 羽島市福寿町浅平3-106 羽島市いきいき元気館3F	058-392-2888	058-391-2260	hashimar@ccn3.aitai.ne.jp
503-2121 不破郡垂井町1856-1	0584-23-4514	0584-22-5895	fuwarc@par.odn.ne.jp
503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目35-10 大垣市情報工房4F	0584-82-5200	0584-74-4541	ogaki4rc@helen.ocn.ne.jp
503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目35-10 大垣市情報工房4F	0584-82-5200	0584-74-4541	ogaki4rc@helen.ocn.ne.jp
501-0222 岐阜県瑞穂市別府1294-1 松野ビル2F	058-329-2630	058-329-2631	usuzumi@estate.ocn.ne.jp
503-0654 海津市海津町高須442	0584-53-4350	0584-53-3186	sunriver@okbnet.ne.jp
507-0831 多治見市新町1-23 多治見市産業文化センター4F	0572-25-5100	0572-25-5101	t-rc@joy.ocn.ne.jp
508-0045 中津川市かやの木町1-20 中津川商工会議所3F	0573-66-9933	0573-66-8766	n-rc@takenet.or.jp
509-6121 瑞浪市寺河戸町1043-2 瑞浪商工会議所2F	0572-67-1754	0572-67-2825	m-rotary@luck.ocn.ne.jp
509-7203 恵那市長島町正家1-5-11 恵那商工会議所2F	0573-25-9888	0573-25-9889	ena@rotary.enat.jp
509-5121 土岐市土岐津町山6-7 土岐商工会議所4F	0572-54-8426	0572-54-2223	toki2rc@arion.ocn.ne.jp
507-0831 多治見市新町1-23 多治見市産業文化センター4F	0572-25-5100	0572-25-5101	n-rc@joy.ocn.ne.jp
508-0045 中津川市かやの木町1-20 中津川商工会議所3F	0573-66-7301	0573-65-6960	ncrotary@takenet.or.jp
507-0831 多治見市新町1-23 多治見市産業文化センター4F	0572-25-5100	0572-25-5101	r-rc@joy.ocn.ne.jp
501-3743 美濃市上条78-7 美濃商工会議所3F	0575-33-4959	0575-33-4959	mino-rc@yacht.ocn.ne.jp
504-0912 各務原市那加桜町2-186 各務原市産業文化センター5F	058-382-4649	058-382-4719	info@kakamigahara-rc.jp
501-3874 関市平和通7-10-25 アメリカ2F	0575-22-9332	0575-22-9977	seki-rc@abelia.ocn.ne.jp
501-4221 郡上市八幡町小野67 ㈱八幡建設2F	0575-67-0314	0575-67-0005	rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
501-3803 関市西本郷通5-2-53	0575-24-7332	0575-23-5278	sekichuo@hyper.ocn.ne.jp
501-5121 郡上市白鳥町白鳥47-12 白鳥町農業指導研修センター2F	0575-82-3822	0575-82-5191	gsrca@abelia.ocn.ne.jp
504-0022 各務原市那加東亜町106 各務原市東亜町会館1F	058-382-9331	058-382-9328	krc2630@gmail.com
506-0841 高山市下三之町136 十六銀行高山支店2F	0577-32-5420	0577-35-2347	ty-rc@alto.ocn.ne.jp
509-2207 下呂市湯之島801-2 下呂温泉旅館会館3F	0576-24-1620	0576-25-6632	gero-rc@proof.ocn.ne.jp
506-0026 高山市花里町3-33-3 大垣共立銀行高山支店3F	0577-34-3988	0577-34-1906	twrc2630@circus.ocn.ne.jp
505-0041 美濃加茂市太田町2565-1 シティホテル美濃加茂2F	0574-25-2824	0574-28-2575	minokamo@viola.ocn.ne.jp
509-0214 可児市広見1-5 可児市総合会館2F	0574-63-1001	0574-63-1004	rotary@kani.or.jp
506-0011 高山市本町1-2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F	0577-36-0730	0577-36-1488	jimu@takayamacrc.jp

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2020年5月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	0	41	0	39	0	0	2
	桑名西	0	36	0	35	0	1	2
	桑名中央	0	31	1	30	1	0	1
	桑名北	0	31	8	29	8	0	2
	グループ計(4)		139	9	133	9	1	7
四日市	四日市	0	95	0	90	0	6	11
	四日市北	0	24	5	24	5	0	0
	四日市西	0	72	4	71	4	0	1
	四日市南	0	41	4	42	4	1	0
	四日市東	1	39	0	38	0	1	2
	グループ計(5)		271	13	265	13	8	14
鈴鹿・亀山	鈴鹿	0	69	10	69	10	1	1
	鈴鹿西	0	39	7	38	7	0	1
	鈴鹿ベイ	0	12	0	13	0	1	0
	亀山	0	12	0	15	0	3	0
	鈴鹿シティ	0	68	4	71	4	4	1
グループ計(5)		200	21	206	21	9	3	
中勢・伊賀	津	0	63	0	64	0	8	7
	上野	0	39	2	39	2	2	2
	名張	0	34	2	36	1	7	5
	津南	0	49	2	49	2	2	2
	津北	0	49	4	52	4	4	1
	上野東	0	40	3	38	3	1	3
	久居	0	27	1	28	1	1	0
	名張中央	0	24	1	25	2	2	1
	グループ計(8)		325	15	331	15	27	21
松阪・東紀州	松阪	0	77	0	78	0	3	2
	松阪東	0	61	10	65	10	5	1
	熊野	0	33	5	33	5	0	0
	尾鷲	0	14	2	13	2	0	1
	松阪山桜	1	36	3	35	3	1	2
	グループ計(5)		221	20	224	20	9	6
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	0	59	0	59	0	2	2
	鳥羽	0	31	4	31	4	0	0
	伊勢南	0	45	3	46	4	2	1
	志摩	0	49	12	50	12	3	2
	伊勢中央	0	50	0	50	0	0	0
	伊勢度会	0	15	4	15	4	0	0
グループ計(6)		249	23	251	24	7	5	
三重県合計(33)		1,405	101	1,410	102	61	56	

■2019年5月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
三重県合計(33)	85.81	1,374	1,424	103	50
岐阜県合計(42)	81.84	1,757	1,813	71	56
地区合計(75)	83.59	3,131	3,237	174	106

(注)グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜卓	0	80	0	77	0	6	9
	岐阜卓西	0	53	0	52	0	3	4
	岐阜卓長良川	0	49	0	49	0	1	1
	岐阜卓北	0	38	3	40	3	2	0
	岐阜卓中	0	28	1	30	1	3	1
	グループ計(5)		248	4	248	4	15	15
岐阜B	岐阜卓南	0	94	9	97	12	12	9
	岐阜卓東	0	49	2	52	2	5	2
	岐阜卓東南	0	40	0	40	0	2	2
	岐阜卓加納	0	76	3	77	3	4	3
	岐阜卓エトス	0	19	2	22	2	3	0
	岐阜卓城	0	16	0	19	1	3	0
グループ計(6)		294	16	307	20	29	16	
岐阜西濃	大垣	2	88	2	86	2	1	3
	大垣西	0	75	0	75	0	2	2
	本巣	0	28	0	28	0	0	0
	羽島	0	31	4	33	4	2	0
	不破	1	31	0	30	0	0	1
	大垣中	0	53	0	53	0	0	0
	大垣センチュリー	0	54	3	58	3	5	1
	岐阜卓淡墨	0	14	1	16	1	3	1
	岐阜卓サンリバー	0	17	3	18	4	1	0
グループ計(9)		391	13	397	14	14	8	
岐阜東濃	多治見	0	48	3	49	3	3	2
	中津川	0	70	2	73	2	6	3
	瑞浪	0	59	1	59	1	1	1
	恵那	0	50	1	50	1	0	0
	土岐	0	41	1	41	1	0	0
	多治見西	0	33	4	32	4	0	1
	中津川センター	0	47	1	55	1	9	1
	多治見リバーサイド	0	39	1	40	1	1	0
グループ計(8)		387	14	399	14	20	8	
東海北陸道	美濃	0	21	0	18	0	0	3
	各務原	0	25	1	24	1	0	1
	関	0	50	2	50	2	0	0
	郡上八幡	0	38	0	37	0	1	2
	関中央	3	33	0	34	0	1	0
	郡上長良川	0	35	6	33	5	2	4
	各務原中央	0	25	2	24	2	0	1
	各務原かかみの	0	9	2	9	2	0	0
グループ計(8)		236	13	229	12	4	11	
濃飛	高山	0	41	0	44	0	4	1
	下呂	0	21	0	25	0	5	1
	高山西	0	40	1	40	2	2	2
	美濃加茂	0	39	8	39	8	0	0
	可児	2	31	1	36	1	6	1
	高山中央	0	56	3	58	5	5	3
グループ計(6)		228	13	242	16	22	8	
岐阜県合計(42)		1,784	73	1,822	80	104	66	
地区合計(75)		3,189	174	3,232	182	165	122	

会員動静報告 (敬称略)

2020年5月分

受章

 村瀬洋介 旭日小綬章	 愛知孝夫 岐阜県各界功労者表彰	 鷺尾賢一郎 岐阜県各界功労者表彰	 熊谷隆男 岐阜県各界功労者表彰	 水野昌樹 岐阜県各界功労者表彰	 福富泰岳 瑞宝双光章
---	--	---	--	---	---

入会会員

 齊藤 肇 2020.5.19入会 電気事業	 大黒賢宏 2020.5.11入会 ガス供給	 船瀬晃太郎 2020.5.11入会 保険	 廣野一三 2020.5.11入会 税理士	 志浦久雄 2020.5.11入会 社会保険労務士	 藤原 章 2020.5.11入会 施設警備	 西村 純 2020.5.11入会 生命保険
---	---	--	--	---	---	---

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

 長尾晃臣 2020.5.21入会 司法書士・土地家屋調査士	 今井哲也 2020.5.7入会 板金業	 高原龍士 2020.5.7入会 建物解体業	 奈木直美 2020.5.7入会 乳製品製造販売	 板屋司郎 1987.5.7入会 2020.5.6逝去 ポールハリスフェロー 米山功労者	 國井武彦 1962.8.30入会 2020.5.24逝去 1992-93年度会長 米山功労者(マルチプル) ポールハリスフェロー	 上田治一 1951.6.6入会 2020.5.18逝去 1969-70年度会長 1965-66年度副会長 1960-62年度幹事 1978年ポールハリスフェロー
---	---	---	---	--	---	--

ガバナー月信 表紙説明



表紙題字…加賀 修パストガバナー
(桑名西RC)
2013-14年度ガバナー

魚帰りの滝

岐阜県高山市荘川町三尾河地区、旧軽岡峠口にあり、古来名瀑として有名です。

鱒などの魚が川をのぼってきても、この滝を登る事が出来ず、滝の下に留まってしまい、そのまま下流に戻る事からこの名が付けられました。

秋には紅葉がきれいで、釣りや野鳥観察のポイントでも知られています。

新年度までのあゆみ



次期ガバナー補佐予定者懇談会
(2019年7月28日 名鉄ニューグランドホテル)



次期ガバナー補佐・地区委員会委員長研修セミナー
(2019年12月1日 名鉄ニューグランドホテル)



国際協議会
(2020年1月19日～25日 米国・サンディエゴ)



地区チーム研修セミナー
(2020年2月16日 名鉄グランドホテル)



会長エレクト研修セミナー／地区研修・協議会
(2020年4月24日～5月29日 オンラインにて開催)



地区役員引継会
(2020年6月13日 名鉄グランドホテル)

《お知らせ》

現下、新型コロナウイルスの影響により、地区運営はオンラインとリアルをベストミックスを考えていかなければならないということで、ガバナー月信は、次号(2020年8月号)より電子版での配信とさせていただきます。
2020-21年度地区ホームページ内「ガバナー月信」ページよりご覧ください。
何卒ご理解とご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020-21年度 ガバナー 剣田 廣喜

2020-2021年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務局	〒506-0011 岐阜県高山市本町1丁目2 飛騨信用組合本町サテライト出張所 3F TEL 0577-32-2630 FAX 0577-36-1488 E-mail 2021@rid2630.jp (ガバナー事務所) E-mail 2021taikai@rid2630.jp (地区大会事務局)	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)